

白馬村教育に関する事務の管理及び
執行の状況に係る点検・評価報告書
(令和5年度事業対象)



令和6年8月

白馬村教育委員会

(3) 教育機関等

白馬北小学校・白馬南小学校・白馬中学校・白馬村学校給食センター
白馬村公民館・白馬村図書館
しろうま保育園・子育て支援ルーム
白馬南小放課後児童クラブ・白馬北小放課後児童クラブ・白馬北小放課後子ども教室
白馬村子育て相談支援センター「おひさま」

小・中学校児童生徒数（R5.5.1現在）

南小	児童	102人	普通学級	6	特別支援学級	2
北小	児童	274人	普通学級	10	特別支援学級	3
中学	生徒	229人	普通学級	7	特別支援学級	3
計		605人				

2. 教育委員会の活動状況（令和5年4月から令和6年3月）

(1) 教育委員会会議の開催

白馬村教育委員会会議規則の規定により、定例会を毎月1回開催し、臨時会を1回開催した。

(2) 会議及び研修会等への参加（主な会議）

- ① 市町村教委・県教委懇談会
- ② 県招地教委連絡会
- ③ 校長会地教委合同会議
- ④ 校長教頭園長合同会議（8・3月以外毎月開催）

(3) 学校行事及び各種行事への参加

主幹指導主事訪問に合わせて学校訪問を行った。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更されたことに伴い、学校行事や各種行事は新しい生活様式を踏まえながら、以前のように実施されるようになった。

入学式、卒業式はもとより、小学校の音楽会や運動会、中学校の総合発表会なども多くの方が参列するなかで実施された。

社会教育では、二十歳の集い、文化祭などの行事も感染対策をしながら、通常どおりに実施した。

3. 教育委員会が管理・執行する事務

(1) 教育委員会が定める規則等に関すること

- 白馬村立学校職員服務規程の一部改正
- 白馬村立白馬中学校における拠点部活動要綱の制定
- 学校職員の勤務時間等に関する規程の一部改正
- 白馬村教育委員会事務局庶務規程の一部改正
- 白馬村通級指導教室実施要綱の一部改正
- 不登校児童生徒を支援する民間施設等の利用と評価及び出席扱い等のガイドラインの制定
- 白馬村地域学校協働活動推進員設置要綱の制定
- 白馬村文化財保護条例施行規則の制定
- 白馬村文化財審議委員会の組織及び運営に関する規則の一部改正
- 白馬村図書館管理規則の一部改正
- 白馬村図書館雑誌スポンサー制度に関する要綱の制定

教育長提案のとおり可決・承認した。

(2) 教育委員会が意見をする規則等に関すること

- 白馬村グリーンスポーツ条例の一部改正
- パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する規則の一部改正
- 白馬村新生児聴覚検査実施要綱の制定
- 白馬村学校給食費徴収条例施行規則の一部改正
- 白馬村子ども第三の居場所事業補助金交付要綱の一部改正
- 白馬村民間保育所等施設整備事業補助金交付要綱の一部改正
- 全国中学校体育大会等参加生徒派遣費補助金交付要綱の一部改正
- 白馬村いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱に対する意見
- 特別支援教育就学奨励費及び就学援助費の支給単価の一部改正
- 白馬村要保護児童対策地域協議会設置要綱の一部改正
- 白馬村要保護児童対策地域協議会委員の委嘱に対する意見
- フルタイム会計年度任用職員の給料にかかる級及び号給決定に関する規則の一部改正
- 白馬村文化財保護条例の制定
- 白馬村文化財保存整備費等補助金交付要綱の一部改正
- 白馬村ウィング 21 条例の一部改正
- 白馬村体育施設条例の一部改正
- 白馬村使用料条例の一部改正
- 白馬村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 白馬村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 白馬村放課後子ども教室設置条例の一部改正
- 白馬村保育料条例の一部改正
- 白馬村放課後児童クラブ条例施行規則の一部改正
- 白馬村子ども家庭センター設置要綱の制定
- 白馬村低所得の子育て世帯への加算給付金支給事務実施要綱の制定
- 白馬村子育て支援ルーム事業運営要綱の一部改正
- 白馬村産後ケア事業実施要綱の一部改正
- 白馬村不妊・不育治療費補助金交付要綱の一部改正

教育長提案のとおり可決・承認した。

(3) 教育関係委員会等委員の委嘱・任命に関すること

- 学校運営協議会委員・・・・・・・・・・ 34 名（南小 12 名、北小 12 名、中学 10 名）
- 白馬村小中学校給食献立委員会委員・・・・ 11 名
- 白馬村教育支援委員会委員・・・・・・・・ 17 名
- 白馬村公民館運営審議会委員・・・・・・・・ 12 名
- 白馬村学校給食センター運営委員会委員・・ 4 名
- 白馬村図書館協議会委員・・・・・・・・・・ 8 名
- 白馬村通学路安全推進会議委員・・・・・・・・ 11 名
- 白馬村社会教育委員・・・・・・・・・・・・・ 6 名
- 白馬村文化財審議委員会委員・・・・・・・・ 7 名
- 白馬村スポーツ推進委員・・・・・・・・・・ 9 名
- 白馬北小学校薬剤師・・・・・・・・・・・・・ 1 名

教育長提案のとおり可決・承認した。

(4) 県費負担教職員の内申に関すること

- | | |
|----------|----------------------|
| ① 転出・退職 | 南小 4 名、北小 6 名、中学 5 名 |
| ② 転入 | 南小 4 名、北小 5 名、中学 5 名 |
| ③ 任用校長 | 1 名 |
| ④ 指導上の措置 | 0 名 |

(5) 学齢生徒・児童の就学並びに生徒児童の入学、転学に関すること

- | | |
|----------------|------------------|
| ① 区域外就学の許可 | |
| | 村外から南小へ 1 名 |
| | 村外から北小へ 3 名 |
| | 村外から中学へ 3 名 |
| | 南小学区から北小へ 5 名 |
| | 北小学区から南小へ 4 名 |
| ② 通級指導教室への通級許可 | 15 名 |
| ③ 就学先の変更 | 特別支援学級から通常学級 0 名 |
| ④ 就学先の決定 | 特別支援学校へ 0 名 |
| | 特別支援学級へ 10 名 |

(6) 教育予算に関すること

令和 5 年度白馬村一般会計補正予算（第 1 号）（第 2 号）（第 5 号）（第 7 号）（第 8 号）〔教育予算〕及び令和 6 年度白馬村一般会計予算〔教育予算〕について協議した。

(7) その他重要と認められる事項

- | |
|--------------------------|
| ① 県教委と村教委相互の連絡調整についての協議 |
| ② 感染症拡大防止のための臨時休校についての協議 |

(8) 教育課

主管する事業費（歳入）			37,485,076 円
12 款 1 項 4 目	教育費負担金	学校給食費負担金	34,201,163 円
13 款 1 項 5 目	教育使用料	体育施設使用料	11,400 円
14 款 2 項 4 目	教育費国庫補助金	特別支援教育就学奨励費補助金	481,000 円
		部活動指導員任用補助金	218,000 円
		学校保健特別対策事業費補助金	225,000 円
16 款 1 項 1 目	財産貸付収入	教員住宅貸付収入	153,000 円
16 款 1 項 2 目	利子及び配当金	義務教育施設整備基金等利子	51,762 円
		教育振興基金利子	60 円
		奨学基金利子	60 円
20 款 5 項 1 目	雑入	雑入	19,631 円
		演劇鑑賞会負担金	124,000 円
21 款 1 項 6 目	教育債	公共施設等適正管理推進事業債	2,000,000 円

教育債は、北小の教室床改修工事費と児童昇降口階段改修工事費に充当した。

換気対策として中学校に配備した冷風機に充当した新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や、小学校 150 周年記念事業負担金に充当したふるさと白馬村を応援する基金繰入金、学校修繕の損害保険料は、歳入決算では総務費で一括計上されている。（地方創生臨時交付金充当額 225,000 円、ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 16,770,000 円、損害保険料 231,550 円）

主管する事業費（歳出）		406,406,011 円
9 款 1 項 1 目	教育委員会費	1,735,982 円
9 款 1 項 2 目	事務局費	129,253,073 円
9 款 2 項 1 目	学校管理費（小）	23,242,190 円
9 款 2 項 2 目	教育振興費（小）	82,911,909 円
9 款 3 項 1 目	学校管理費（中）	12,640,761 円
9 款 3 項 2 目	教育振興費（中）	45,584,222 円
9 款 5 項 3 目	学校給食費	111,037,874 円

事務局費は、義務教育施設整備基金積立金、学校環境整備事業の工事請負費などにより減額となっている。

課の方針と実績

令和 5 年度の教育課は、以下のとおり目標を設定し、事業に取り組んだ。

- ①白馬村における教育の基本方針を定める
- ②地域に開かれた学校づくりを目指す
- ③地域公共交通網の実証運行を行なう
- ④地域との連携を進め、食育に取り組む

課の目標は単年度ではなく、継続性をもって中期的に取り組む必要があるため、令和 4 年度の設定目標を承継して取り組んだ。

白馬村における教育の基本方針として令和 2 年度に「白馬村教育大綱」を定めた。その後、令和 3 年度に実施したアンケートの集計と、その意見をもとに生涯学習スポーツ課と連携しながら、「白馬村教育振興基本計画」の素案を中間報告として教育委員会に提出した。

南北小学校は令和 5 年度に 150 周年を迎え、多くの記念事業を実施した。それぞれの学校、PTA が趣向を凝らし、地域の方々と 150 周年を祝う事ができた。また、地域と学校をつなぐ学校支援コーディネーターを設置し、開かれた学校づくりに取り組んだ。

スクールバスは 4 年目を迎え、車両や運転手の配置などを他事業と連携できないか検討した。実証では、運転手を他事業と連携することはできなかったが、運行を工夫することで、中学生の部活動帰りの利用につなげることができた。

給食においては、地場産を利用する地産地消を進めた。秋には北アルプス地域振興局と連携し、南小で地場産米消費拡大対策として「さんろくおにぎり」に取り組んだ。また冬には有機栽培（オーガニック）の米を使用した給食を提供し、郷土食材に親しむ機会をつくるよう取り組んだ。

(9) 生涯学習スポーツ課

主管する事業費（歳入）		175,395,396 円
13 款 1 項 1 目 総務使用料	ジャンプ 競技場リフト使用料	18,689,400 円
	クロスカントリー競技場使用料	1,141,550 円
13 款 1 項 5 目 教育使用料	体育施設使用料	2,174,700 円
	ウイング 21 使用料	4,698,200 円
	公民館備品使用料	3,700 円
14 款 3 項 1 目 国庫委託金	ナショナルトレーニングセンター委託金	18,085,842 円
15 款 2 項 1 目 県補助金	地域発元気づくり支援金	3,924,000 円
15 款 3 項 5 目 県補助金	人権教育推進事業補助金	25,000 円
15 款 3 項 1 目 県委託金	ジャンプ 競技場管理委託金	56,834,000 円
16 款 1 項 1 目 財産収入	村有土地貸付収入	39,306 円
	村有建物貸付収入	2,105,544 円
	スポーツ振興基金利子	980 円
20 款 5 項 1 目 雑入	コピー代	7,490 円
	自動販売機電気料	190,307 円
	雑入	14,177 円
	公民館講座受講料	434,800 円
	利用者カード再発行代	2,400 円
	村誌等売却収入	24,000 円
	スポーツ活動支援補助金	1,000,000 円
21 款 1 項 2 目 総務債	公共施設等適正管理推進事業債	2,300,000 円
21 款 1 項 4 目 観光債	辺地対策事業債	28,000,000 円
21 款 1 項 7 目 教育債	緊急防災・減災事業債	35,700,000 円

スノーハープの法面改修工事に伴い起債発行額が増額となった。

主管する事業費（歳出）	351,560,030 円
2 款 7 項 1 目 スポーツ事業総務費	15,441,630 円
2 款 7 項 2 目 施設管理費	153,554,068 円
2 款 7 項 3 目 スポーツ事業振興費	32,099,446 円
2 款 7 項 4 目 ナショナルトレーニングセンター費	3,955,691 円
9 款 4 項 1 目 社会教育総務費	19,014,145 円
9 款 4 項 2 目 公民館費	1,995,109 円
9 款 4 項 3 目 図書館費	14,005,722 円
9 款 4 項 4 目 文化財保護費	7,557,182 円
9 款 5 項 1 目 保健体育総務費	16,668,345 円
9 款 5 項 2 目 体育施設費	87,268,692 円

スノーハープ法面改修工事や、ウイング 21 電気関連工事などにより事業費が増額となった。

課の方針と実績

令和 5 年度の生涯学習スポーツ課は、以下のとおり目標を設定し、事業に取り組んだ。

- ①村民のスポーツ参画の推進
- ②施設使用に関する条例、ルール、予約システムの見直し
- ③図書館等複合施設建設に向けた検討
- ④文化財の適正管理と歴史文化に触れる機会の創出
- ⑤芸術文化の振興

各種感染対策が緩和された初年度となる令和 5 年度のスポーツ大会等の開催については、通常の運営で大会等を開催しました。また、村民のスポーツ参画の推進については、スポーツ推進委員と連携し各種事業を実施した。

図書館等複合施設建設に向けては、これまでの比較検討の結果から、従来通り複合施設として整備す

ることが望ましいとの結論に至ったが、財政的判断により子育て支援施設のみ先行して整備し、図書館は先送りすることとなった。

文化財の適正管理と歴史文化に触れる機会の創出については、紙媒体の情報の整理・データ化を進め、テキストや画像をホームページに掲載するとともに、信州大学との連携事業として神城断層地震の震災アーカイブを公民館講座や学校教育等で活用した。

芸術文化の振興については、ウイング21開演25周年コンサートの実施や、林家正蔵落語会等、多くの住民が芸術文化に触れる機会を創出した。

4. 村長が教育委員会に委任する事務について

子育て支援課

主管する事業費（歳入）		319,552,470 円
12 款 1 項 1 目	保育所保育料負担金他	16,973,138 円
12 款 1 項 2 目	未熟児養育医療費負担金	15,715 円
14 款 1 項 1 目	児童手当国庫交付金	83,467,345 円
14 款 1 項 2 目	母子保健衛生費負担金	60,000 円
14 款 2 項 1 目	就学前教育保育施設整備交付金他	128,083,178 円
14 款 2 項 2 目	出産・子育て応援交付金他	8,243,000 円
15 款 1 項 1 目	児童手当県費負担金	16,986,498 円
15 款 1 項 2 目	母子保健衛生費県負担金	41,599 円
15 款 2 項 2 目	子どものための教育保育給付交付金他	36,636,535 円
15 款 2 項 3 目	出産・子育て応援交付金	2,158,000 円
20 款 5 項 1 目	B&G 財団助成金(子ども第三の居場所)他	26,887,462 円
主管する事業費（歳出）		572,637,160 円
3 款 2 項 1 目	児童福祉総務費	316,615,628 円
3 款 2 項 2 目	子育て支援費	48,691,812 円
3 款 2 項 3 目	保育所費	162,602,339 円
4 款 1 項 4 目	母子健康費	44,727,381 円

建築中の B&G 財団の子ども第三の居場所の助成金や、小規模保育施設建設整備に伴う交付金、白馬幼稚園の定員区分の変更や未満児園児数の増加による補助金の増額等により、歳入歳出とも増加した。

課の方針と実績

令和5年度の子育て支援課は、以下のとおり目標を設定し、事業に取り組んだ。

- ①窓口サービスの向上と子育てに関する情報の発信
- ②0歳から18歳まで、切れ目ない支援の充実
- ③保育の充実及び保育環境の整備

窓口対応では、用件を解決できるように、課内の情報共有を行い、子育て世帯との信頼関係の構築に努めた。子育てに関する情報発信では、子育てイベントや事業内容、手続きなどについて広報はくばに掲載した。また、ホームページを、わかりやすさや利便性について改修した。

0歳から18歳まで切れ目ない支援については、子育て支援コーディネーター、母子保健コーディネーター、家庭児童相談員等が各年代により担当し、関係機関と連携して支援をおこなった。

保育の充実及び保育環境の整備では、サンライズキッズ保育園の開園や白馬幼稚園の2才児の受け入れにより、未満児の入所可能人数が25名増加し待機児童の解消につながった。村内に保育施設が複数あるため、連絡会を開催し保育の質の向上、充実において共通認識を図ると共に、各園の課題や取り組みについて情報交換を行った。

物価高騰の影響を受けたひとり親世帯および低所得の子育て世帯等に給付金を支給した。

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名		白馬高校支援事業	決算書の頁	P. 34											
事業内容	白馬山麓事務組合負担金(白馬高校支援事業への負担金) 白馬村、小谷村で連携し白馬高校魅力課づくりに取り組んでおり、実際の事務は一部事務組合である白馬山麓事務組合で行っている。事業費を白馬村と小谷村で経費案分して支出している。負担金の対象となる、白馬山麓事務組合での事業内容は以下のとおり。 1. 全国募集活動とキャリア教育に対する支援 2. 公営塾「しろうま學舎」の運営 3. 教育寮「しろうま Pal House」の運営														
	【実績】 1. 全国募集活動とキャリア教育に対する支援 ①グローバル講演会 10/31(火) 講師 公立諏訪東京理科大学教授 篠原菊紀氏 ※一般公開せず ②全国募集に伴うパンフレット等の作成 ③全国募集は、東京4回、名古屋・大阪1回を実施したほか、関西地域・愛知県出身中学校・白馬小谷姉妹都市中学校に訪問した。 ④地域みらい留学推進協議会に令和3年度より参画し、全国111校と一緒に「地域みらい留学」のオンライン学校別説明会及び対面合同説明会に参加。 令和5年度に入学した県外生は10名。また、前年の2倍となり、国際観光科も33名とコロナ前の状況に戻りつつある。 (H30:210名、R元:206名、R2:181名、R3:163名、R4:140名、R5:136名) 2. 公営塾「しろうま學舎」の運営 ①地域おこし協力隊制度を活用して講師3名により運営 ②しろうま學舎塾生は令和3年度31名、令和4年度26名、令和5年度27名となっている。 <table><tr><th>年 度</th><th>塾生(名)</th><th>主な合格大学・進学先</th></tr><tr><td>令和3年</td><td>31</td><td>長野県立大学1名、静岡文化芸術大学1名</td></tr><tr><td>令和4年</td><td>26</td><td>日本大学1名、関西外国語大学1名</td></tr><tr><td>令和5年</td><td>27</td><td>立教大学1名、東洋大学1名</td></tr></table> 白馬高校では、令和4年度から教育方針や新教育課程を新たにし、より地域に根差した特色ある教育を確立していくことを目的としていくとの事。 3. 学生寮「しろうま Pal House」の運営 舎監を中心に寮管理業務スタッフが生活支援を行っている。 ○入寮生の推移 R1 入寮生24名(県外21名、県内3名)、 R2 入寮生35名(県外26名、県内9名)、 R3 入寮生16名(県外14名、県内2名)、 R4 入寮生22名(県外15名、県内7名) R5 入寮生26名(県外14名、県内12名)				年 度	塾生(名)	主な合格大学・進学先	令和3年	31	長野県立大学1名、静岡文化芸術大学1名	令和4年	26	日本大学1名、関西外国語大学1名	令和5年	27
年 度	塾生(名)	主な合格大学・進学先													
令和3年	31	長野県立大学1名、静岡文化芸術大学1名													
令和4年	26	日本大学1名、関西外国語大学1名													
令和5年	27	立教大学1名、東洋大学1名													

【成果】

「白馬高等学校の経営及び運営に参加する地域案」をもとに事業を展開してきた。新型コロナウイルス感染症も大きく影響し、令和３年度まで減少していたが、行動制限が無くなってから再び他地域からの入学者が増加している。

全国募集では、地域みらい留学の対面合同説明会および独自説明会を開催したほか、プロモーションビデオを利用し、YouTubeを活用した募集活動を行っている。

公営塾については、よりレベルの高い大学受験に対応した「特進クラス」により、計画表を作成して目標を定め、生徒同士が教え合うなど工夫した講義により、一般受験で立教大学や東洋大学の合格者を輩出するまでになっている。

寮運営では、自立心と協調性を育み、ボランティア活動を通じて社会性を身につけられるよう寮生活を行っている。



【財源内訳】

ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 27,952,000 円

※下記決算額は６目企画費 19 節 負担金、補助及び交付金の内数。

※一般財源には事業に係る特別交付税措置分(計算上)30,830,000 円が含まれている。

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと白馬村を応援する基金繰入金)	一 般 財 源
66,943,000	66,943,000			27,952,000	38,991,000

9款	教育費	1項	教育総務費	1目	教育委員会費
----	-----	----	-------	----	--------

事業名	教育委員会総務事業	決算書の頁	P. 79
-----	-----------	-------	-------

事業内容	教育委員会の運営に関する事務 1. 白馬村教育委員会に関すること 2. 大北市町村教育委員会連絡協議会等の運営に関すること
------	--

実績・成果	1. 白馬村教育委員会に関すること 定例会と臨時会の開催を行うほか、教育に関わる各種会議や行事等に参加し、関係団体と連携を図り、本村の教育に関する事務を管理執行。 (1) 定例教育委員会年12回（毎月） 主な審議内容 ・教育委員会規則等の改正や制定 ・条例の改正や制定、教育予算に対する意見 ・委員の委嘱、任命 ・県費教職員の内申や児童生徒の入学、転学等に関すること (2) 臨時教育委員会 随時 ※令和5年度は、教育長の任命に伴い、4月に1回開催した。 ※定例教育委員会、臨時教育委員会の議事録を作成し、白馬村ホームページに掲載。 (3) 学校訪問 各校 1回（中信教育事務所と合同で訪問） (4) 支出内容 ・教育委員報酬（4名） 836,000 円 ・交際費 11,077 円 ・旅 費 34,540 円 - 支出計 881,617 円 2. 大北市町村教育委員会連絡協議会等の運営に関すること (1)出席した主な会議や活動 ・市町村教委、県教委懇談会 ・県招地教委連絡会 ・校長会地教委合同会議 ・信濃木崎夏期大学 等 (2)支出内容 負担金 854,365 円
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源
1,778,000	1,735,982	0	0	0	1,735,982

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費
----	-----	----	-------	----	------

事業名		教育委員会事務局一般事業		決算書の頁	P. 79－81
-----	--	--------------	--	-------	----------

事業内容	教育委員会事務局の庶務的事業に係る経費を一般事業として執行。また、将来の学校施設改修に備えて基金への積立を行う。				
	主な事業				
	1. 教育長・一般職職員及び会計年度任用職員に係る人件費				
	2. 小中学校教職員福利厚生に係る事業				
	3. 校務支援システム事業				
	4. 小学校 150 周年記念事業				
	5. 義務教育施設整備基金積立				
6. 事務局業務に係る諸経費					

実績・成果	主 な 事 業		金額(円)	事業内容	
	1	特別職(教育長)・一般職及び会計年度任用職員に係る人件費	49,622,806	給料・手当・共済・退職手当負担金・報酬・費用弁償(7名分)	
	2	小中学校教職員福利厚生費	1,175,000	教職員 12 名	
	3	校務支援システム利用負担金	1,423,800	月額 39,550 円×12 月×3 校	
	4	小学校 150 周年記念事業	2,000,000	南小 100 万円、北小 100 万円	
	5	義務教育施設整備基金積立金	50,051,762	内 51,762 は利子積立	
	事務局事業に係る諸経費等		2,163,747		
	6	就学時健康診断(10/19 実施)	90,000	健診医 3 名の報酬	
		学校支援者補償制度加入掛金	117,000	学習支援ボランティア保険	
		携帯メール学校連絡網利用料	128,700	絆ネット利用料 3校分	
		私立高等学校生徒奨学補助金	420,000	1 人 2 万円 21 名に補助	
		消耗品費、通信運搬費、コピー使用料等	1,408,047	事務局複合印刷機リース料等	
		合 計		106,437,115	

※その他財源の内訳 体育施設使用料 11,400 円、教員住宅使用料 153,000 円 基金利子(義務教育施設整備基金・教育振興基金) 51,822 円、雑入 19,631 円 ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(校務支援システムに充当) 1,400,000 円 ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(小学校 150 周年記念に充当) 2,000,000 円					
--	--	--	--	--	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (上記のとおり)	一 般 財 源
107,081,000	106,437,115	0	0	3,635,853	102,801,262

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	教育相談事業	決算書の頁	P. 80
-----	--------	-------	-------

事業内容	平成 26 年度から教育相談事業を実施。 児童生徒が安心して学校生活を送り、学習に取り組めるよう、児童生徒の不安や悩みを早期に発見し、適切に対応できるよう学校心理士・作業療法士を配置した。 いじめや不登校、子育て不安、特別支援等に関する相談について、各校児童生徒・保護者へのカウンセリングを行うとともに教職員へのアドバイスを実施。 各学校における教育相談体制の充実を図った。
------	---

実績・成果	学校心理士・作業療法士による相談事業 【相談員】 2名 【実施回数と内容】 <table> <tr> <td>カウンセリング</td><td>41件</td></tr> <tr> <td>支援会議</td><td>4件</td></tr> <tr> <td>職員相談</td><td>13件</td></tr> <tr> <td>集団療育</td><td>9件</td></tr> </table> ※特別な支援を必要とする児童・生徒への適切な対応、家庭の養育力にかかわる問題、不登校への対応等に対して、円滑に学校と情報共有や指導を実施。 【支出した経費】 教育相談等業務委託料 476,399 円 	カウンセリング	41件	支援会議	4件	職員相談	13件	集団療育	9件
カウンセリング	41件								
支援会議	4件								
職員相談	13件								
集団療育	9件								

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源
596,000	476,399	0	0	0	476,399

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	学校環境整備事業	決算書の頁	P. 80
-----	----------	-------	-------

事業内容	小中学校の施設及び設備等の整備・改修のうち、比較的規模の大きなものや各校に共通する賃借等を本事業で対応した。
------	--

実績・成果			
	費目・金額(円)	金額内訳	内 容
	修繕費 4,078,140	4,078,140	小学校屋根雪害修繕など 10 件
	委託料 2,750,000	2,750,000	神城教員住宅アスベスト調査・解体設計委託
	賃借料 4,329,600	4,329,600	校務用パソコン等(情報機器)リース ①ノート型PC48 台(南 18・北 30) ②職員室デスクトップ型 PC3 台(南 2・北 1)
	工事費等 7,384,300		
	起債事業		
	北小 教室床・昇降口改修	2,288,000	北校舎床改修(2の1、2の2、たんぼぼ1) 児童昇降口階段改修
	小学校 体育館放送設備改修	2,530,000	メインスピーカー、デジタルアンプなど
	北小 調理実習室エアコン設置	1,430,000	エアコン2台
	その他工事	1,136,300	中学校舎ベランダ手すり改修など
	備品購入費 3,797,519		
	中学 生徒用PC・キーボード購入	992,739	PC39 台(リユース製品)、キーボード 27 台
	小学校 クロスカントリー靴購入	1,237,500	150 足
	その他備品購入	1,567,280	中学美術室机、中学生徒用WiFi機器など
	合 計	22,339,559	
※ その他財源の内訳 ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(クロスカントリー靴購入に充当) 1,200,000円 ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(神城教員住宅解体設計に充当) 2,700,000円 ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(中学生徒用PC、美術室机に充当) 670,000円			
 			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
22,415,000	22,339,559	0	2,000,000	4,570,000	15,769,559

9款	教育費	2項	小学校費	1目	学校管理費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	南小・北小 学校管理事業	決算書の頁	P. 81
-----	--------------	-------	-------

事業内容	白馬南・白馬北小学校の維持管理のための経常的な経費が主なものである。		
	項目 \ 学校	南 小	北 小
	ク ラ ス 数	8 クラス	13 クラス
	児 童 数	102 名	274 名
	家 庭 数	74 世帯	217 世帯
	教 職 員 数	20 名	38 名

実績・成果	維持管理に係る主な実績 義務教育施設における児童の安全を確保するための管理保全に係る業務として、経常的な業務を行うとともに、修繕等については優先順位を決めて実施した。			
	(円)			
	支 出 科 目	南 小	北 小	計
	会計年度任用職員(給料・手当等)	2,791,380	2,699,378	5,490,758
	燃料費・光熱水費	6,105,905	7,377,757	13,483,662
	ガ ス 代	152,663	50,518	203,181
	灯 油 代 等	2,118,119	1,808,054	3,926,173
	電 気 代	3,068,633	3,964,735	7,033,368
	上下水道料	766,490	1,554,450	2,320,940
	修 繕 費	760,738	345,748	1,106,486
	委 託 料	834,130	972,330	1,806,460
	その他(消耗品・原材料)	705,578	649,246	1,354,824
	合 計	11,197,731	12,044,459	23,242,190

上記修繕費のうち主な修繕箇所	
区 分	内 容
南 小	体育館窓ガラス、キュービクル漏電警報、ベランダ手すり、除雪機 他
北 小	トイレ漏水、体育館ジェットヒーター、プール配管、教室窓ガラス 他

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (損 害 保 険 料)	一 般 財 源
24,126,000	23,242,190	0	0	231,550	23,010,640

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	南小学校教育振興事業										決算書の頁	P. 81－83	
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	----------	--

事業内容	白馬南小学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行った。 令和5年度 学校基本調査による教職員数 (名)												
	教職員	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	支援講師	栄養職員	図書館事務	用務員	小計	合計
	県費	1	1	10	1	2	1	0				16	20
	村費							3			1	4	

実績・成果	白馬南小学校教育活動を支える教育振興事業 県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする児童への教育支援講師、英語指導をフォローする ALT を村費で配置し、学習を円滑に行えるようにした。 また学校運営協議会制度を導入し、学校運営の改善に努めるとともに、学校医による児童・教員の健康管理や必要とする教具備品や学校図書についても適切に整備した。													
	内 容					金 額(円)		内 容					金 額(円)	
	報酬等							使用料及び賃借料						
	学校医(5名)					510,000		事務OA機器借上料等					485,816	
	学校運営協議会委員(11名)					83,600		パソコンソフト使用料					433,950	
	会計年度任用職員(6名)					9,218,031		備品購入費						
	報償							図書購入費					498,718	
	外部講師謝礼等					198,760		教具備品購入費					823,021	
	普通旅費					10,329		補助及び扶助費						
	需用費							校長会負担金等					172,805	
	消耗品費等					6,218,051		PTA 教育環境増進活動補助金					150,000	
	修繕費					84,700		遠距離通学補助(24名)					291,700	
	役務費							準要保護児童援助費(15名)					464,354	
	通信運搬費					402,209		特別支援教育就学奨励費(5名)					40,450	
	学校災害共済保険料等					210,815		合 計					21,074,353	
	委託料													
	児童検診、教員健康診断等					425,044								
	スキー教室コーチ委託料					352,000								
財源内訳 国県支出金:特別支援教育就学奨励費補助金 20,000 円														

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
21,832,000	21,074,353	20,000	0	0	21,054,353

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	北小学校教育振興事業							決算書の頁		P. 81－83			
-----	------------	--	--	--	--	--	--	-------	--	----------	--	--	--

事業内容	白馬北小学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行なった。 令和5年度 学校基本調査による教職員数 (名)												
	教職員	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	支援講師	支援員	図書館事務	用務員	小計	合計
	県費	1	1	15	1	10	1					29	38
	村費							5	2	1	1	9	

実績・成果	白馬北小学校教育活動を支える教育振興事業 県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする児童への教育支援講師や支援員、英語指導をフォローする ALT、日本語指導、ICT 支援員(3校兼務)を村費で配置し、学習を円滑に行えるようにした。 また、学校運営協議会制度を導入し、学校運営の改善に努めるとともに、学校医による児童・教員の健康管理や、必要とする教具備品や学校図書についても適切に整備した。													
	内 容					金 額(円)		内 容					金 額(円)	
	報酬等							使用料及び賃借料						
	学校医(5名)					606,000		事務OA機器借上料等					579,307	
	学校運営協議会委員(10名)					102,600		パソコンソフト使用料					442,200	
	会計年度任用職員(11名)					24,673,444		備品購入費						
	報償							図書購入費					1,249,941	
	外部講師謝礼等					112,008		教具備品購入費					490,270	
	需用費							補助及び扶助費						
	消耗品費等					7,719,418		校長会負担金等					312,425	
	修繕費					249,040		PTA 教育環境増進活動補助金					90,750	
	役務費							遠距離通学補助(44名)					507,700	
	通信運搬費					593,111		準要保護児童援助費(29名)					827,290	
	学校災害共済保険料等					319,330		特別支援教育就学奨励費(14名)					152,035	
	委託料							合 計					43,153,754	
	児童検診、教員健康診断等					1,188,265								
	スキー教室コーチ委託料					825,000								
	ICT支援業務委託料					2,113,620								
財源内訳 国県支出金:特別支援教育就学奨励費補助金 75,000 円 その他:演劇鑑賞会負担金 124,000 円														

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金 (上記のとおり)	地 方 債	その他 (上記のとおり)	一般財源
43,912,000	43,153,754	75,000	0	124,000	42,954,754

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	スクールバス運行事業	決算書の頁	P. 82
-----	------------	-------	-------

事業内容	児童が安全に通学できる交通手段として、スクールバスの運行を実証した。 乗車対象者は、通学距離が概ね片道 3.5km 以上の地区に自宅がある児童とし、猛暑時期及び積雪時期にあたる7月及び11月末から3月までの約5か月間の運行を行なった。 また今年度は、JR運行のない時間帯で、中学生の下校についても実証した。		
------	---	--	--

実績・成果	1. 運行概要					
	【白馬南小学校】（大型バス1台） 対象者：めいてつ、飯森の一部、堀之内、三日市場、内山 ※ 堀之内、三日市場は通学路の状況を鑑み積雪時期のみ運行 ※ 内山の夏は大型バスに混乗、冬はタクシー対応					
	【白馬北小学校】（マイクロバス1台、大型バス2台、タクシー3台） 対象者：落倉、切久保、どんぐり、みそら野、エコーランド、和田野、山麓、野平、通、嶺方 ※ 和田野・山麓、野平・通、嶺方はタクシー対応					
	【白馬中学校】（マイクロバス1台、大型バス1台、タクシー2台） <u>*冬期のみ運行</u> 対象者：神城、落倉、野平、嶺方 ※ 神城地区は部活動等に所属していて下校時刻が遅くなる生徒が対象で夕方のみ運行 ※ 完全下校時刻からJR運行時刻まで待機時間が長くなるため、北小児童の送迎が終了した大型バス1台が、車庫に戻るのに合わせて中学校へ配車・運行 ※ 落倉・野平・嶺方地区の生徒は、小学生と混乗して登下校					
	2. 月別乗車率 (%)					

	7月	11・12月	1月	2月	3月
登校	63.5	63.3	58.8	56.2	57.7
下校	56.5	54.3	52.7	49.7	53.8

3. 支出内訳（委託料） (円)						
	7月	11・12月	1月	2月	3月	合計
バス	2,679,600	4,195,400	3,545,300	3,877,500	2,325,400	16,623,200
タクシー	169,880	476,900	492,240	533,800	313,320	1,986,140
小計	2,849,480	4,672,300	4,037,540	4,411,300	2,638,720	18,609,340

【財源内訳】 ※一般財源には事業に係る特別交付税措置分 11,229,000 円が含まれている					
--	--	--	--	--	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源
18,685,000	18,609,340	0	0	0	18,609,340

9 款	教育費	3 項	中学校費	1 目	学校管理費
-----	-----	-----	------	-----	-------

事 業 名		学校保健特別対策事業(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)		決算書の頁	P.84
-------	--	---------------------------------------	--	-------	------

事業内容	大人数が集まる場所ではスムーズな換気ができないため、中学校における感染予防対策として、大型の送風機 2 台を整備した。 財源には、学校保健特別対策事業補助金と、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した。				

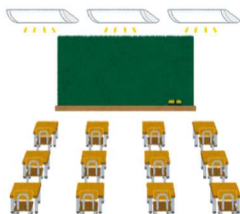
実績・成果	<table><tr><td>目的や狙う効果</td><td>具体的に何をしたか</td><td>実 績</td><td>効 果</td></tr><tr><td>大人数が集まる場所でスムーズな換気を行う。</td><td>換気対策 大型送風機を 2 台整備した。</td><td>白馬中学校 534,600 円</td><td>入学式など行事を行い大人数が集まる空間において、効率的な換気が図れるようになった。</td></tr></table>				目的や狙う効果	具体的に何をしたか	実 績	効 果	大人数が集まる場所でスムーズな換気を行う。	換気対策 大型送風機を 2 台整備した。	白馬中学校 534,600 円	入学式など行事を行い大人数が集まる空間において、効率的な換気が図れるようになった。
	目的や狙う効果	具体的に何をしたか	実 績	効 果								
大人数が集まる場所でスムーズな換気を行う。	換気対策 大型送風機を 2 台整備した。	白馬中学校 534,600 円	入学式など行事を行い大人数が集まる空間において、効率的な換気が図れるようになった。									
実績・成果	気化熱を利用した冷風機能がある送風機を 白馬中学校ランチルームに 2 台設置した。											
	  ※国県支出金の内訳 学校保健特別対策事業補助金 225,000 円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(通常分) 225,000 円											

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金 (上記のとおり)	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源
535,000	534,600	450,000	0	0	84,600

※ 決算額等は地方創生臨時交付金を充当した事業分を抜き出した額で、再掲です。

9款	教育費	3項	中学校費	1目	学校管理費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	中学校管理事業	決算書の頁	P. 83、84
-----	---------	-------	----------

事業内容	白馬中学校の維持管理のための経常的な経費が主なもの。		
	クラス数	10 クラス	
	生徒数	229 名	
	家庭数	216 世帯	
	教職員数	31 名	

実績・成果	1. 維持管理に係る主な実績 義務教育施設における生徒の安全を確保するための管理保全に係る業務として、経常的な業務を実施した。			
	科目		金額(円)	
	会計年度任用職員(給料・手当等)	2,805,849	燃料費・光熱水費	5,824,593
	委託料 (設備点検保守等)	581,940	ガス代	25,912
	リース料	2,011,460	灯油代等	2,113,221
	備品購入費 (コロナ関連他)	1,036,090	電気代	3,141,030
	消耗品・修繕費・原材料費	380,829	上下水道料	544,430
	合計	12,640,761		
	2. 上記リース料の内訳 (円)			
	普通教室、ランチ ルーム等 LED リース	1,766,160	開発教室、図書館等 LED リース	245,300
3. 上記備品購入費の内訳 (円)				
FF 暖房機	501,490	換気対策用冷風機	534,600	

国県支出金の内訳		学校保健特別対策事業費補助金 225,000 円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 225,000 円	
----------	--	---	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	その他 ()	一 般 財 源
13,172,000	12,640,761	450,000	0	0	12,190,761

9款	教育費	3項	中学校費	2目	教育振興費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	中学校教育振興事業	決算書の頁	P. 84-86
-----	-----------	-------	----------

事業内容

白馬中学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行なった。 令和5年度 学校基本調査 (名)													
教職員	校長	教頭	教諭	教養諭護	教栄諭養	講師	職事員務	講支師援	支援員	事務館	用務員	小計	合計
県費	1	1	16	1	1	3	1					24	31
村費								5		1	1	7	

実績・成果

白馬中学校教育活動を支える教育振興事

県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする生徒への教育支援講師、英語指導をフォローする ALT、部活動支援員を村費で配置し、学習活動を円滑に行えるようにした。

また、学校運営協議会制度を導入し、学校運営の改善に努めるとともに、学校医による生徒・教員の健康管理や、必要とする教具備品や学校図書について整備した。

内 容		金 額(円)	内 容		金 額(円)
報酬等			使用料及び賃借料		
学校医(5名)		574,000	事務OA機器借上料等		614,929
学校運営協議会委員(8名)		83,600	情報教育環境整備事業リース料		10,845,500
会計年度任用職員(12名)		20,569,688	備品購入費		
報償			図書購入費		659,810
外部講師謝礼等		150,680	教具備品購入費		298,320
普通旅費		212,567	補助及び扶助費		
需用費			校長会負担金等		333,245
消耗品費等		3,494,479	スキー大会等派遣補助		890,174
修繕費		57,730	遠距離通学補助(24名)		589,100
役務費			準要保護生徒援助費(31名)		1,617,510
通信運搬費		726,543	特別支援教育就学奨励費(7名)		204,080
学校災害共済保険料等		282,095	合 計		
委託料					
教育用コンピュータ保守委託料		2,164,800			
児童検診、教員健康診断等		1,061,372			
スキー教室コーチ委託料		154,000			

財源内訳 国県支出金： 特別支援教育就学奨励費補助金 102,000 円、部活動指導員任用補助金 218,000 円
その他： ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(スキー大会派遣補助) 800,000 円、
奨学基金利子 60 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金 (上記のとおり)	地 方 債	そ の 他 (上記のとおり)	一 般 財 源
46,300,000	45,584,222	320,000	0	800,060	44,464,162

9款	教育費	5項	保健体育費	3目	学校給食費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	学校給食センター事業	決算書の頁	P. 92、93
-----	------------	-------	----------

事業内容

学校給食センターは令和元年度より本格運営を開始し、隣接する中学校へは直接受渡し、北小学校・南小学校へはそれぞれ専用のコンテナ車で運搬している。施設内の設備について、修繕の必要な個所は計画的に改修をしている。

- ◆給食費負担金は、小学校 280 円、中学校 325 円/食であるが、地産地消分として、小学生 10 円、中学生 20 円/食を公費で上乗せして献立を立てている。しかし、物価の高騰や急な欠食などで不足した賄材料費分や第 3 子の負担金減免分は、村が全て補填している。

賄材料費の内訳

センター稼働日は 206 日

区 分	白馬南小	白馬北小	白馬中学	合 計
年間給食実施日数	197 日	199 日	201 日	
給食提供人数	128 人	311 人	248 人	687 人
給食費負担金	5,801,482 円	14,315,929 円	14,083,752 円	34,201,163 円
村補填金額	1,722,146 円	4,882,407 円	3,430,291 円	10,034,844 円

※数値には教職員等も含まれる。負担金は欠食申請分等を精算して徴収している。

※ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 1,400 千円を充当(単価上昇分・地場産品使用分補助)

- ◆子育て支援策で、3人以上の子どもを扶養する世帯の3人目以降の給食費を減免している。

【再掲】下記数値は賄材料費の内訳にも計上

区 分	白馬南小学校	白馬北小学校	白馬中学校	計
対象者数	10 人	34 人	10 人	54 人
減免額合計	2,948,251 円			

※ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 2,900 千円を充当(賄材料費 第 3 子以上減免分)

- ◆主食は、週5日の内、米飯を4日、麺類又はパン1日で、水曜日に麺とパンを隔週で提供するように献立をたてている。

- ◆給食用食材の購入は、給食用物資納入業者登録制度に基づき、登録業者から地場産物を優先して購入するようにしている。

魚・肉・果物・きのこ等の地場産使用割合 (米は100%白馬産を使用)

全数に占める割合	県外	白馬	白馬以外の大北	その他県内
	71.3%	12.5%	4.8%	11.4%
長野県産に占める割合	白馬		白馬以外の大北	その他県内
	43.7%		16.6%	39.7%
大北産に占める割合	白馬		その他大北	
	72.4%		27.6%	

- ◆給食センターで発生する生ごみは、センター内にある 2 台の処理機で分解処理をしており、1 年間の処理量は 3,452kgであった。

総事業費 111,037,874円

(1) 職員の状況 34,687,930円

栄養士(パートタイム会計年度任用職員)	1	※栄養教諭1名 栄養士1名(栄養教諭は県費職員) ※常勤調理員1名、R5.9/17から産・育休暇のため代替調理員で補填
常勤調理師(パートタイム会計年度任用職員)	11	
代替調理員・パン搬送(1名)	7	

(2) 維持費 69,924,226円

費目	金額(円)	主な内容
消耗品費	3,983,177	賄材料費は給食の原材料費で、地場産消費や物価高騰分の一部にふるさと白馬村を応援する基金繰入金 1,400 千円を充当している。
燃料費	1,137,543	
光熱水費	11,409,244	
修繕費	1,447,600	
賄材料費	44,236,007	
委託料	6,853,935	
施設管理委託料	5,208,720	自家用電気工作物保安管理
		562,320
		機械設備保守点検業務
		2,964,500
		厨房(調理)機器保守
		836,000
業務委託料	1,645,215	警備委託
		151,800
		自動ドア保守料
		132,000
		その他(電力業務サポート、牛乳保管庫保守、生ごみ処理機保守)
		562,100
衛生検査	1,024,815	消毒等業務
		620,400
負担金補助金	856,720	給食費管理システム等

(3) 扶助費 4,316,893円 (援助費 3,747,065円 奨励費 569,828円)

区 分	白馬南小		白馬北小		白馬中学	
	人	金額(円)	人	金額(円)	人	金額(円)
準要保護児童生徒援助(給食費全額)	15	640,080	29	1,425,760	31	1,681,225
特別教育就学児童生徒奨励(給食費1/2)	5	115,640	11	296,240	5	157,948

※ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 3,700 千円を充当(準要保護児童生徒援助費)

(4) その他 2,108,825円

役務費 585,320 使用料及び賃借料 631,207 公課費 39,600
備品購入費 852,698

各種委員会の状況

・学校給食センター運営委員会(7/10) ・献立委員会(偶数月に開催) 6回開催

財源内訳

国県支出金 特別支援教育就学奨励費補助金: 284,000
そ の 他 学校給食費負担金: 34,201,163
ふるさと白馬村を応援する基金繰入金: 8,000,000

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (上記のとおり)	一 般 財 源
111,420,000	111,037,874	284,000	0	42,201,163	68,552,711

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	2目	施設管理費
----	-----	----	---------	----	-------

事業名	スノーハープ維持管理事業	決算書の頁	P.40-41
-----	--------------	-------	---------

事業内容	1. 夏期・冬期の利用に関する受付 2. スノーハープ施設の維持管理及び修繕の実施 3. 各種大会開催のための会場提供 4. 施設維持管理に係る備品購入
------	---

実績・成果

1. 使用状況 ※NTC 利用者、スキー大会参加者は除く

利用者数	利用者数（名）			収入金額（円）		
	R4	R5	比較	R4	R5	比較
全 体	10,903	11,533	630	1,086,500	1,141,550	55,050
夏 期	7,051	8,895	1,844	701,300	856,250	154,950
冬 期	3,852	2,638	△1,214	385,200	285,300	△99,900

2. 施設の維持管理及び修繕

(1) 委託業務……………芝生維持管理業務(5 回) 535,062 円
管理業務委託(受付・圧雪業務・施設維持等) 9,262,000 円
浄化槽保守点検委託業務 209,000 円
ESP 業務委託料 171,600 円、電気保安管理業務 200,640 円
圧雪車点検業務(PB400、PB240D) 1,935,285 円
法面改修工事に係る設計業務 891,000 円
リサルトシステム更新業務 286,000 円
その他委託 274,340 円 【13,593,327 円】

(2) 修 繕……………管理棟階段修繕 253,000 円、スタートゲート修繕 220,000 円
スノーモービル修繕 392,293 円、コース修繕 69,000 円
その他修繕 81,543 円 【1,015,836 円】

(3) 光 熱 水 費 等…上下水道(465 m³) 163,580 円
電気(94,206kWh) 3,326,698 円、燃料(灯油 5,065L) 635,151 円、(軽油 3,000L) 478,770 円、その他燃料費等 222,656 円 【4,826,855 円】

(4) 車両借上料等…コピー機リース料 138,975 円
AED リース料 62,040 円、 【201,015 円】

(5) 原材料費……………芝生殺菌剤、芝生肥料 568,588 円、
洗砂・砕石 80,256 円 【687,322 円】

(6) 備品購入費……………スタート信号発生装置 253,000 円 【253,000 円】

(7) 法面改修工事に伴う設計・監督業務負担金 2,140,000 円 【2,140,000 円】

(8) 法面改修工事 25,030,000 円 【25,030,000 円】

3. 各種大会開催のための会場提供

(1) 夏期 少年サッカー大会、ランニング記録会(3 回)、スノーハープクロスカントリー大会等

(2) 冬期 第 102 回全日本スキー選手権大会クロスカントリー競技、第 36 回全国高等学校選抜
スキー大会、第 47 回白馬五竜とおみクロスカントリー大会、FISパラノルディック大会

4. その他 消耗品費、食糧費等 【1,008,678 円】

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (競技場使用料等)	一 般 財 源
86,850,000	48,756,033	1,294,151	28,000,000	1,456,550	18,005,332

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	2目	施設管理費
----	-----	----	---------	----	-------

事業名	白馬ジャンプ競技場維持管理事業	決算書の頁	P.40-41
-----	-----------------	-------	---------

事業内容	1. リフトの運行 2. ジャンプ競技場施設の維持管理及び修繕の実施 3. 各種大会開催のため会場提供 4. 来場者増を図るための改修工事
------	--

実績・成果

1. 使用状況

リフト営業日数 (R4 330 日・R5 332 日) ※NTC 利用者は除く

	利用者数 (名)			収入金額 (円)		
	R4	R5	比較	R4	R5	比較
全 体	45,985	43,619	△2,366	19,258,800	18,559,400	△699,400
夏 期	42,388	40,174	△2,214	17,690,360	17,051,740	△638,620
冬 期	3,597	3,445	△152	1,568,440	1,507,660	△60,780

2. 施設の維持管理及び修繕

(1) 委託業務.....競技場管理運営業務 50,332,000 円、電気保安管理業務 465,960 円、雪止めネット着脱業務 7,755,000 円、圧雪車点検業務 2,266,220 円
散水切替業務 93,500 円、エレベーター保守点検業務 316,800 円
アイストラック点検・整備業務 2,772,000 円、ESP 業務委託料 330,000 円
電気設備動作確認 935,000 円、掲示計算システム保守点検 418,000 円
その他委託業務 566,850 円 【66,251,330 円】

(2) 修 繕.....スプリンクラーヘッド交換修繕 913,000 円、リフト改修工事 13,391,380 円
乗用草刈り機修繕 467,160 円、3 次元風向風速計修繕 1,390,815 円
エレベーターバッテリー各種交換修繕 451,000 円、
圧雪車パンク修繕 311,993 円、手押し草刈り機修繕 89,188 円
その他修繕 242,260 円 【17,256,796 円】

(3) 光 熱 水 費 等...上下水道(3,646 m³) 838,830 円、電気(363,707kwh) 10,474,708 円、
燃料(灯油 2,104L) 262,081 円、(軽油 4,908L) 751,862 円
その他燃料 129,368 円 【12,456,849 円】

(4) 車両借上料等...除雪機借上料 649,000 円、コピー機借上料 172,806 円
降雪機借上料 1,056,000 円、キャッシュレス機械端末借上料 43,560 円
公用車リース料 627,000 円 コンプレッサーレンタル料 620,862 円
その他借上料 43,320 円 【3,212,548 円】

(5) 印刷製本費等...パンフレット増刷 207,900 円、その他印刷製本費 40,391 円 【248,291 円】

(6) 工事請負費.....ノーマルヒル階段安全対策工事 2,365,000 円、
ローエアーガン設備改修工事 442,200 円 【2,807,200 円】

(6) そ の 他 (消耗品費、通信運搬費、北陸信越索道協会会費 等) 【2,565,021 円】

3. 各種大会開催のため会場提供

(1) 夏期 サマーノルディックフェスティバル、SAJ・A 級公認大会

(2) 冬期 第 36 回全国高等学校選抜スキー大会(SP、NC)

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (リフト使用料等)	一 般 財 源
105,332,000	104,798,035	69,670,000	2,300,000	20,844,400	11,983,635

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	3目	スポーツ事業振興費
----	-----	----	---------	----	-----------

事業名		スポーツ振興事業		決算書の頁	P.41-42
-----	--	----------	--	-------	---------

事業内容	1. 各種スポーツイベント、事業への助成 (1)スノーハープクロスカントリー大会負担金 (2)白馬村スキークラブ補助金 (3)白馬高校スキー部補助金 (4)白馬村スキー選手育成事業補助金 (5)各種スキー大会への助成 2. スキースポーツ・スポーツ育成振興奨励金の授与				
	実績・成果				

実績・成果	1. 各種スポーツイベント、事業への助成 負担金・補助金 (1)スノーハープクロスカントリー大会負担金 715,000 円 (2)白馬村スキークラブ補助金 1,042,000 円 (3)白馬高校スキー部補助金 1,000,000 円 (4)JOCジュニアオリンピックカップ全国ユース選抜マウンテンバイク大会 300,000 円 (5)白馬村スキー選手育成事業補助金 10,000,000 円 (6)白馬村スキースポーツ強化事業補助金 10,000,000 円 (6)①白馬少年スキー大会負担金 3,800,000 円 ②各種スキー大会負担金等 4,400,000 円 (全国高等学校選抜スキー大会ノルディック種目 3,500,000 円 サマーノルディックフェスティバル 900,000 円) 【31,257,000 円】				
	2. スポーツ育成振興奨励金・スポーツ功労賞・スキースポーツ育成奨励金 【800,000 円】				

種 目		人 数	
スポーツ功労賞（マウンテンバイク 3 名・アルペン 1 名・クロスカントリー 1 名 ジャンプ コンバイント 2 名・スノーボード 2 名・フリースタイル 1 名）		11 名	
スキースポーツ育成振興奨励金 アルペン 4 名 クロスカントリー 4 名、ジャンプ コンバイント 1 名、 フリースタイル 3 名		12 名	
競技スポーツ大会出場奨励金		14 名	
合 計		37 名	

予算額 （円）	決算額 （円）	財 源 内 訳（円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 （ふるさと基金等）	一 般 財 源
32,141,000	32,099,446	0	0	31,930,980	168,466

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	4目	ナショナルトレーニングセンター費
----	-----	----	---------	----	------------------

事業名	ナショナルトレーニングセンター(NTC)事業		決算書の頁	P.42-43	
-----	------------------------	--	-------	---------	--

事業内容	NTC競技別強化拠点(ノルディック複合)の指定を受けている白馬ジャンプ競技場及び白馬クロスカントリー競技場において、国の委託を受けて強化指定選手がトレーニングを円滑かつ効果的に行うことができるよう施設管理者と連携して施設を運営した。				
	また、中央競技団体(全日本スキー連盟)及び関係団体等と協議のうえ、競技力強化のために指定施設の機能強化を図った。				

実績・成果	1. 中央競技団体(全日本スキー連盟)強化指定選手の施設利用実績等				
	ジャンプ競技場		クロスカントリー競技場		
	日数	延人数	日数	延人数	
	192 日	1,474 名	126 日	564 名	
	2. 機能強化協議会の開催				
	1 回(参加者:SAJ、JOC、施設管理者、機能強化ディレクター等)				
	3. 事業費の内訳				
	区分	内容			金額
	報償費	マネジメントスタッフ、エリートアカデミー講師謝金			1,887,000 円
	旅費	機能強化ディレクター、エリートアカデミー創設に係る打合せ旅費			131,320 円
	消耗品費	消毒用アルコール等			16,951 円
	通信運搬費	動作解析映像システム等通信料			128,700 円
	委託料	クロスカントリー競技場コース整備費			930,000 円
		医科学データ収集分析委託料等			592,020 円
		機能強化ディレクター委託料			240,000 円
	使用料	Zoom ライセンス使用料			29,700 円
	NTC 事業計				3,955,691 円
	参考:ジャンプ競技場維持管理事業への充当	施設使用料			4,481,762 円
		施設整備費・燃料費等			6,164,828 円
参考:クロスカントリー競技場維持管理事業への充当	施設使用料			219,600 円	
	燃料費			511,355 円	
<参考>委託事業総額(国庫受入額:18,085,842 円)				15,333,236 円	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 庫 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源
3,961,000	3,955,691	3,955,691	0	0	0

9款	教育費	4項	社会教育費	1目	社会教育総務費
事業名	社会教育一般事業(人権教育事業)			決算書の頁	P86-87
事業内容	開館 25 周年の節目にあたり、ウイング 21 にてコンサート等の公演を行い、芸術文化に触れる機会の充実に努めた。 「二十歳の集い」を開催した。 次代の社会を担う青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、家庭・学校・地域住民・企業・関係団体と連携して、安全で安心して暮らすことができる環境整備・普及啓発活動に努めた。 村内各地区の子ども会育成会と連携を図り、子どもたちの健全育成のために各種行事を実施した。				
実績・成果	1. 社会教育委員会 社会教育委員会の開催(3回)、各種会議・研修会等への参加 社会教育委員報酬 【106,500 円】 2. 青少年の健全育成のための環境整備、普及啓発活動等(白馬村青少年育成村民会議) (1)有害環境パトロール活動(8月8日(火)、参加者:PTA・社会教育委員・教員・警察等) (2)青少年育成村民大会の開催(10月21日(土)、参加者:128名) 青少年育成村民会議負担金 【125,492 円】 3. 二十歳の集い(対象年齢:20-21歳、対象者90名、出席者62名) 【47,454 円】 4. ウイング 21 文化ホールにおける各種公演(芸術文化に触れる機会の創出) (1)主催事業 ①ウイング 21 開館 25 周年記念コンサート 7月1日(土) 入場者数 159 名 ②林家正蔵落語会 9月18日(月) 入場者数 136 名 ③自衛隊ふれあいコンサート 10月8日(日) 入場者数 450 名 (2)共催事業 ①第 21 回白馬国際音楽祭 7月27日(木)～29日(土) 入場者数延べ 450 名 ②映画「すずめの戸締り」 10月29日(日) 入場者数 343 名 ③第 9 回はつゆきコンサート 12月2日(土) 入場者数 112 名 ウイング 21 芸術文化シリーズ実行委員会負担金 【1,636,622 円】 5. 村内各地区を越えた子ども同士の交流ができる子ども会行事の実施 (1)ウォーターフェスティバル in 白馬 (8月6日(日) 136 名参加) (2)冬の行事ーノルディックスキーこどもの日(2月23日(金・祝) 雪不足のため中止) (3)大北地方子ども会フォーラム(11月25日(土) 池田町) どんぐり区子ども会の発表 (4)全国子ども会安全共済会への加入 905 名(150 円/名) 白馬村子ども会連絡協議会・大北地方子ども会連絡協議会負担金 【241,050 円】 6. その他(人件費・備品購入費等) 【16,857,027 円】				
予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
19,709,000	19,014,145			1,630,000	17,384,145

9款	教育費	4項	社会教育費	2目	公民館費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	公民館事業	決算書の頁	P.87-88
-----	-------	-------	---------

事業内容	1. 地域の身近な学習拠点・交流の場として、住民の学習ニーズや地域の実情に応じた公民館講座を開催するなど多様な学習機会を提供した。 2. 4年ぶりに村民運動会を開催した。文化祭は芸能発表や展示を行い、村民の集い・ふれあい・学びあいを創出して生涯学習の充実を図った。				
------	---	--	--	--	--

実績・成果	1. 公民館講座 村民のニーズ把握に努め、公民館講座を開催した。				
	区分	講座名	回数	参加延人数	
	はくば塾	旅日記を楽しもう「奥の細道随行日記」	7回	125名	
		白馬山麓めぐり	5回	91名	
		神城断層地震と防災	6回	35名	
		植物講座「SDGs 葛文化に着目」	6回	67名	
		天文講座「星空を楽しむ」	5回	56名	
		古文書講座	2回	31名	
		ドローン体験講座	2回	12名	
		社会人権多文化共生	1回	31名	
	ふれあい教室	ヘルシーアップクッキング講座	5回	67名	
		そば打ち教室	2回	15名	
		わでん伝筆教室	6回	38名	
		貯筋運動と脳トレ	10回	84名	
		パステルアート教室	5回	30名	
		浴衣の着付け教室	4回	24名	
		シニアのためのスマホ超入門教室	5回	71名	
	里山道中	新緑の東山	1回	15名	
		秋の峰街道を歩く	1回	19名	
		スノーシュー東山	1回	7名	
	歴史紀行	沓野日記の足跡をゆく	2回	40名	
	合 計			858名	
	講座講師謝礼				【448,000 円】
	2. その他公民館事業				
	(1)村民運動会 9月3日(日) 会場 スノーハープ 約700人が参加				
	(2)文化祭(11月3日-5日、来場者数:約3,900人) 作品展示:54団体、芸能発表:16団体、出店:21店				
	(3)席書大会 10月28日(土) 参加者39名				
(4)こーみんまま・ぱぱクリスマスパネルシアター 参加者約90人					
その他(公民館長・分館長・公運審委員報酬、消耗品、折込、保険掛金等)				【1,547,109 円】	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (受講料・使用料)	一 般 財 源
2,289,000	1,995,109	25,000		462,500	1,507,609

9款	教育費	4項	社会教育費	3目	図書館費
----	-----	----	-------	----	------

事業名		図書館事業		決算書の頁	P.87-88
-----	--	-------	--	-------	---------

事業内容	図書館法に基づき、図書・記録・その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資することを目的とし、白馬村図書館協議会委員の意見を聴きながら、第三次図書館基本計画に基づき白馬村図書館を運営した。 図書館システムの更新を行った。				
	図書館の運営・利用状況 司書(会計年度任用職員)フルタイム2名・パートタイム1名				

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数	275日	275日	268日
来館者数	8,741名	9,398名	10,780名
貸出冊数	22,627冊	25,946冊	26,934冊
蔵書冊数	56,791冊	52,614冊	54,152冊
レファレンス件数	757件	674件	605件

実績・成果	資料の保存場所が限界を迎えていることから、基準に基づき不要資料の除籍を進めている。季節や時事に応じた展示を10回、図書館主催イベントを3回、ブックリサイクルを3回行った。北アルプス地域5館間の輸送車巡回による相互貸借や他館返却は多くの方が利用している。(相互貸借:借受353冊、貸出139冊／北アルプス他館返却:2,358冊(延べ496名)) 図書館等複合施設について、3プランに分け比較検討をおこない、図書館を含めた用地を確保したうえで、子育て支援施設を先行して整備し、図書館の建設は先送りとし今後の財政状況から建設時期を判断することとした。 図書館システムは4月にハードウェア・ソフトウェア更新を行い5年リースでシステム移行を行った。導入システム:NEC図書館システム「LiCS-Re3」				
	図書等購入費				【1,499,939円】
	消耗品費・修繕費・光熱水費・燃料費・通信運搬費等				【1,634,744円】
	図書館システム保守委託料・機器借上料等				【2,607,528円】
	消防施設点検委託料				【105,930円】
	その他(司書・図書館協議会委員報酬、負担金等)				【8,157,581円】

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (手数料・使用料・ふるさと基金)	一 般 財 源
14,261,000	14,005,722			2,302,400	11,703,322

9款	教育費	4項	社会教育費	4目	文化財保護費
----	-----	----	-------	----	--------

事業名		文化財保護事業		決算書の頁	P.88-89
-----	--	---------	--	-------	---------

事業内容	村内の文化財等の保護及び活用に努め、村民の郷土理解の醸成を図った。 ・国・県・村指定文化財の保護・活用・パトロール等 ・白馬連山水河調査事業 ・神城断層地震震災の撓曲保護及びデジタルアーカイブ利活用				

実績・成果	1. 文化財パトロール・保護事業 村内天然記念物指定の桜の開花状況等調査(4月) 県文化財指導員と共に村内文化財(国・県指定)のパトロールを実施(7月～8月) (実施箇所:神明社、銅制御正体、船山遺跡、青鬼、白馬連山高山植物帯)				
	2. 文化財審議委員会の開催 年3回(4月、10月、2月) 各種調査を行うとともに、村内の文化財の状況について現状や課題を共有して検討した。 文化財審議委員報酬【98,800 円】				

実績・成果	3. 文化財指定 天然記念物 田頭のシダレザクラ 1本 令和6年3月4日指定				
	4. 文化財保護事業補助金 八方尾根鎌池木道撤去 事業費 1,320,000 円 補助金交付額 990,000 円 深空十郎様のオオヤマザクラ枯木伐採撤去 事業費 95,000 円 補助金交付額 71,000 円 文化財保護事業補助金【1,061,000 円】				

実績・成果	5. 白馬連山水河調査事業 唐松沢氷河に続き、白馬村内で氷河の可能性が高いとされる白馬沢・杓子沢・不帰沢について 新潟大学・白馬山案内人組合等と調査を行った。(令和2～5年度) ※令和3年度からは「長野県地域発元気づくり支援金」を活用している。 氷河調査委託料(調査＋活用検討)【3,707,000 円】				
	6. 2014 年長野県神城断層地震震災アーカイブの構築とその利活用に関する事業 信州大学との連携事業として、神城断層地震の被災記録(写真や資料、被災者インタビュー動画など)をデジタルアーカイブとして電子データで集積保存し、これを活用した生涯学習や学校教育コンテンツを開発した上で、活用しながら地域独自で継承していける仕組みを構築し、震災記憶の継承と地域防災力の向上を図った。 ※令和3年度からは「長野県地域発元気づくり支援金」を活用している。 信州大学委託料【990,000 円】 QRコード付看板設置工事(ウイング21)【121,000 円】 映像作成委託料【484,000 円】				

7. その他(旅費・消耗品・印刷製本費・講師謝礼等)		【356,901 円】		
----------------------------	--	-------------	--	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
7,251,000	6,818,701	3,924,000		1,000,000	1,894,701

9款	教育費	5項	保健体育費	1目	保健体育総務費
事業名	保健体育一般事業	決算書の頁	P89-90		
事業内容	1. スポーツ推進委員会活動(白馬村スポーツ祭、少年スポーツ祭) 2. 白馬村スポーツ祭、少年スポーツ祭の開催 3. スポーツ少年団活動 4. スポーツ協会活動補助 5. 各種委託料の支払い 6. ウォータースポーツフェスティバル 7. その他				
実績・成果	1. スポーツ推進委員会活動 (1)スポーツ推進委員報酬(9名分) 585,000 円 (2)その他(傷害保険料) 29,609 円 【614,609 円】 2. 白馬村スポーツ祭、少年スポーツ祭 【48,172 円】 ①消耗品 19,416 円 ②食糧費 28,756 円 3. スポーツ少年団(9 団体)活動補助 【743,000 円】 4. スポーツ協会活動負担金及び補助金 (1)各種村民対象のスポーツ大会の開催 ①白馬スポーツ協会補助金 2,020,000 円 ②郡スポ協負担金等 112,700 円 【2,132,700 円】 5. 審判委託料と白馬村スノースポーツ教室運営委託金 【575,400 円】 6. ウォータースポーツフェスティバル ①備品購入費 394,770 円 ②消耗品 456,894 円 【851,664 円】 7. その他 【11,702,800 円】 人件費 職 員 2 名 会計年度任用職員(パート) 1 名				
予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
17,333,000	16,668,345	0	0	3,668,000	13,000,345

9款	教育費	5項	体育施設費	2目	体育施設費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名		体育施設維持管理事業		決算書の頁		P90-92	
-----	--	------------	--	-------	--	--------	--

事業内容	1. 体育施設の貸出状況 2. 体育施設の維持管理 3. 各種イベント、教室への会場提供等(白馬村スポーツ協会加盟団体、スポーツ少年団、スポーツクラブでの教室開催等						
------	--	--	--	--	--	--	--

実績・成果	1. 貸出状況 (1)利用者数 57,207 名 (2)収入金額 2,174,700 円						
	利用者・収入 施設名	利用者数(名)			収入金額(円)		
		令和4年度	令和5年度	比較	令和4年度	令和5年度	比較
	北部トレセン	17,288	16,985	△ 303	476,250	706,150	229,900
	南部トレセン	4,790	5,304	514	440,600	494,600	54,000
	B&G体育館	7,173	7,391	218	37,000	129,100	92,100
	B&Gプール	5,165	5,383	218	280,450	334,750	54,300
	北小体育館	2,264	1,921	△ 343	9,600	0	△ 9,600
	南小体育館	1,660	2,059	399	12,000	41,600	29,600
	北部グラウンド	17,866	11,616	△ 6,250	127,250	227,100	99,850
	南部グラウンド	4,787	5,666	879	128,900	235,600	106,700
	中学グラウンド	209	192	△ 17	0	0	0
	北小グラウンド	0	0	0	0	0	0
	南小グラウンド	450	690	240	3,200	5,800	2,600
	合計	61,652	57,207	△ 4,445	1,515,250	2,174,700	659,450

2. 維持管理費用							(円)
施設名	令和4年度	令和5年度	比較	令和5年度内訳			
				電気料	上下水道料	燃料費	電話料
北部グラウンド	1,282,471	1,035,859	△ 246,612	1,008,481	20,580	6,798	-
南部グラウンド	1,327,236	1,058,937	△ 268,299	1,048,927	10,010	-	-
B&Gプール	1,963,862	1,816,137	△ 147,725	642,789	581,390	553,734	38,224
B&G体育館	384,593	346,936	△ 37,657	303,976	42,960	-	-
北部トレセン	888,294	736,199	△ 152,095	674,709	61,490	-	-
南部トレセン	321,973	274,425	△ 47,548	222,915	51,510	-	-
合計	6,168,429	5,268,493	△ 899,936	3,901,797	767,940	560,532	38,224

(1)維持管理費・・・ 内訳は前ページに記載 【5,268,493 円】 (2)消耗品費・・・ 体育施設関連各種消耗品 【293,727 円】 (3)委 託 料・・・ プール上屋設置委託料 342,540 円 白馬村 B&G プール運営業務 3,300,000 円 サッカーゴール運搬業務 115,500 円 グリーンスポーツの森遊具改修委託 1,899,700 円 ナイター電気保安委託 202,840 円 その他委託 428,100 円 【6,288,680 円】 (4)用地賃借料・・・ 北部トレセン・北部グラウンド・B&Gプール土地賃借料 【1,013,700 円】 (5)修繕費・・・ B&G体育館雨漏修繕 341,110 円 B&Gプール鉄骨修繕 293,700 円 B&Gプール排水バルブ交換 190,300 円 その他修繕 344,383 円 【1,169,493 円】 (7)備品購入費・・・ グラウンド整備用グラウンドならし機 113,300 円 【113,300 円】 (8)寄付金 能登半島地震(B&G財団) 【100,000 円】 3. その他 (1)長野県海洋センター連絡協議会負担金等 30,000 円 (2)その他(旅費・AED・モップ使用料、チラシ折込等) 【327,253 円】					
予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (使 用 料 等)	一 般 財 源
14,656,000	14,574,646			4,163,500	10,411,146

9款	教育費	5項	体育施設費	2目	体育施設費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	ウイング21維持管理事業	決算書の頁	P.90-91
-----	--------------	-------	---------

事業内容	1. ウイング21の貸出状況(開催イベント:各種講習会、スポーツイベント、ウイング21友の会による映画鑑賞会等その他貸館イベント) 2. ウイング21の維持管理
------	---

実績・成果	1. 使用状況 各種教室・講習会・スポーツイベント、映画鑑賞会、文化イベント他																																																	
	<table><tr><td>施設名</td><td colspan="3">利用者数(名)</td><td colspan="3">収入金額(円)</td></tr><tr><td>年度</td><td>令和4年</td><td>令和5年</td><td>比較</td><td>令和4年</td><td>令和5年</td><td>比較</td></tr><tr><td>ホール他</td><td>21,204</td><td>19,194</td><td>△ 2,010</td><td>1,136,900</td><td>1,507,300</td><td>370,400</td></tr><tr><td>多目的室</td><td>20,993</td><td>20,917</td><td>△ 76</td><td>494,750</td><td>639,550</td><td>144,800</td></tr><tr><td>アリーナ</td><td>30,370</td><td>21,474</td><td>△ 8,896</td><td>1,638,500</td><td>2,013,550</td><td>375,050</td></tr><tr><td>トレーニングルーム</td><td>2,117</td><td>3,065</td><td>948</td><td>423,800</td><td>537,800</td><td>114,000</td></tr><tr><td>合計</td><td>74,684</td><td>64,650</td><td>△ 10,034</td><td>3,693,950</td><td>4,698,200</td><td>1,004,250</td></tr></table>	施設名	利用者数(名)			収入金額(円)			年度	令和4年	令和5年	比較	令和4年	令和5年	比較	ホール他	21,204	19,194	△ 2,010	1,136,900	1,507,300	370,400	多目的室	20,993	20,917	△ 76	494,750	639,550	144,800	アリーナ	30,370	21,474	△ 8,896	1,638,500	2,013,550	375,050	トレーニングルーム	2,117	3,065	948	423,800	537,800	114,000	合計	74,684	64,650	△ 10,034	3,693,950	4,698,200	1,004,250
	施設名	利用者数(名)			収入金額(円)																																													
	年度	令和4年	令和5年	比較	令和4年	令和5年	比較																																											
	ホール他	21,204	19,194	△ 2,010	1,136,900	1,507,300	370,400																																											
	多目的室	20,993	20,917	△ 76	494,750	639,550	144,800																																											
	アリーナ	30,370	21,474	△ 8,896	1,638,500	2,013,550	375,050																																											
	トレーニングルーム	2,117	3,065	948	423,800	537,800	114,000																																											
	合計	74,684	64,650	△ 10,034	3,693,950	4,698,200	1,004,250																																											
	2. 維持管理費用																																																	
(1) ウイング管理・体育施設予約受付における人件費 会計年度職員(パートタイム) 5 名分 【7,789,615 円】																																																		
(2)光熱水費等・・・電気 7,819,331 円、水道 285,820 円、燃料費 1,199,876 円 【9,305,027 円】																																																		
(3)消耗品費・・・アリーナ用ワックス等 【571,757 円】																																																		
(4)修繕費・・・ ウイング 21 マンホールポンプ場修繕 565,400 円 バスケットゴール修繕 209,550 円 その他 738,010 円 【1,512,960 円】																																																		
(5)委託料・・・舞台機構設備保守点検 660,000 円、調光・映像設備保守点検 423,500 円 環境衛生管理業務 413,600 円、空調機器保守点検 1,573,000 円 ウイング 21 清掃業務委託 726,000 円 公共施設エレベーター等保守管理業務 355,300 円 自家電気工作物の保安全管理業務 682,440 円 夜間受付業務委託料 1,017,816 円 その他 767,016 円 【6,618,672 円】																																																		
(6)工事請負費・・・ウイング21直流電源装置更新工事 16,500,000 円 非常用自家発電設備修繕工事 5,907,000 円 照明器具制御盤改修工事 7,568,000 円 自動火災報知設備更新工事 13,310,000 円 その他 193,600 円 【43,478,600 円】																																																		
(7)LED 照明借上料 ウイング 21LED 照明借上げ料 45 回目/84 回 【2,552,880 円】																																																		
(8)その他(通信費、コピー機・モップ等使用料等) 【864,535 円】																																																		

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (使 用 料 等)	一 般 財 源
73,464,000	72,694,046	0	35,700,000	4,705,160	32,288,886

3款	民 生 費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-------	----	-------	----	---------

事 業 名	児童福祉総務事業	決算書の頁	P. 50
-------	----------	-------	-------

事業内容	1. 白馬村教育支援委員会(旧 白馬村就学支援委員会) 支援を必要とする児童生徒等の就学相談や教育支援に係る事項について、教育委員会の諮問に応じ調査、審議を行い、教育委員会に報告する。
------	--

実績・成果

1. 白馬村教育支援委員会
児童・生徒と保護者、学校、教育委員会が円滑に合意形成を図るため、医療・保健の関係部局等と連携を図りながら、就学支援に関して下記のとおり実施した。
(1) 会議開催回数 … 教育支援委員会 3 回(6 月 27 日・9 月 5 日・11 月 7 日)
教育支援委員会小委員会 2 回
(2) 委 員 数 … 16 名 (内 報酬支払対象者 3 名)
(3) 就学相談や教育支援に関する調査、審議

児童生徒 12 名について、就学先又は学びの場(特別支援学級・通級指導教室等)を審議し、保護者及び関係機関との合意形成に向け調整を行い、今後の支援についても確認した。

事業費内訳

区 分	金 額	内 容
人 件 費	21,362,881 円	職員 3 名、教育支援委員
合 計	21,362,881 円	

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源
21,377,000	21,362,881	0	0	0	21,362,881

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	放課後子どもプラン事業(放課後子ども教室)	決算書の頁	P. 50
-----	-----------------------	-------	-------

事業内容	放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、異年齢間の交流や地域の人との関わりにより児童の育ちを促進する。 1. 名称 北小放課後子ども教室(白馬村多目的研修集会施設内) 2. 開設日と開設時間 学校開校日の毎週月曜日 下校時～午後5時 3. 負担金 1年 1,000 円/名
------	---

実績・成果

1. 利用登録者数 17名
対象児童は1～4年生で、定員20名程度で募集

2. 利用者数 (単位:名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開設日数(日)	0	3	4	3	1	4	4	4	4	3	3	2	35
延べ人数	0	34	59	44	13	49	55	53	59	39	33	24	462

※1年生は6月5日より開始

3. その他活動
・臨時こども教室を実施した (7月21日・9月29日)

事業費内訳

区 分	金 額	内 容
人 件 費	241,273	指導員2名
管 理 費	26,727	通信費
事 業 費	36,036	消耗品費、保険料
合 計	304,036	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (負 担 金)	一 般 財 源
310,000	304,036	179,000	0	17,000	108,036

3 款	民生費	2 項	児童福祉費	1 目	児童福祉総務費
-----	-----	-----	-------	-----	---------

事業名	放課後子どもプラン事業(放課後児童クラブ)	決算書の頁	P. 50
-----	-----------------------	-------	-------

事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。 1. 名称 白馬北小放課後児童クラブ(白馬村保健福祉ふれあいセンター内) 白馬南小放課後児童クラブ(白馬南小学校体育館内) 2. 開設日と開設時間 日曜日・祝日・12月29日～1月3日を除く日 学校の授業日: 下校時～午後6時 学校の休業日: 午前8時～午後6時 3. 利用料 1ヶ月 2,300 円/名
------	---

実績・成果

1. 登録者数	(単位:名)					
年	R1	R2	R3	R4	R5	
北小児童クラブ	59	37	46	52	46	
南小児童クラブ	25	12	14	19	24	
合 計	84	49	60	71	70	

2. 利用者	(単位:日・名)												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開設日	24	23	26	25	26	24	25	23	24	23	23	25	291
北小放課後児童クラブ	308	345	347	321	318	298	348	325	312	230	211	241	3,604
南小放課後児童クラブ	134	168	171	181	178	175	154	122	148	117	122	40	1,710
合 計	442	513	518	502	496	473	502	447	460	347	333	281	5,314
前年度増減	159	97	61	38	18	78	58	△47	128	△26	△45	△87	578
3. 運営経費													
区 分	金 額		内 容										
人件費	6,785,739		指導員 3 名 代替指導員 5 名 計 8 名										
燃料費	19,965		灯油										
管理費	477,934		通信費、機器借上料、修繕費										
事業費	301,316		消耗品費、保険料、口座振替手数料										
合 計	7,584,954												

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (負 担 金)	一 般 財 源
7,698,000	7,584,954	5,486,000	0	1,338,600	760,354

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名		児童手当給付事業		決算書の頁	P. 50
-----	--	----------	--	-------	-------

事業内容	児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与すること及び次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に、中学校修了までの児童の保護者等に児童手当を年3回(6月、10月、2月)支給する。				
	児童手当月額支給額(1人当たり)				
	3歳未満 … 一律 15,000 円				
	3歳以上小学校修了前 … 10,000 円(第3子以降※は 15,000 円)				
	中学生 … 一律 10,000 円				
	児童の保護者等の所得が所得制限限度額以上の場合 … 一律 5,000 円				
	また、所得上限限度額以上の場合… 資格廃止				
	※第3子以降とは、高校卒業までの養育している児童のうち、3番目以降の児童のことをいう。				

実績・成果	1. 児童手当の支給 106,490,000 円				
	月	6月 (2～5月)	10月 (6～9月)	2月 (10～1月)	合 計
	対象児童数	3,283 名	3,144 名	3,226 名	9,653 名
	(内3歳未満)	446 名	418 名	438 名	1,302 名
	(内小学校修了前)	2,041 名	1,962 名	2,024 名	6,027 名
	(内中学校修了前)	796 名	764 名	764 名	2,324 名
	支給金額	36,220,000 円	34,665,000 円	35,605,000 円	106,490,000 円
	前年比 延対象児童数: △44 名 支給金額 : △6,025,000 円				
	2. その他の支出 144,760 円				
	消耗品費(目隠しシール) 19,800 円				
	印刷製本費(封筒、支払通知書等) 124,960 円				
	特定財源内訳 (単位:円)				
		被用者	非被用者	特例給付	合 計
	国庫交付金	48,642,761	33,892,584	932,000	83,467,345
	県費負担金	8,914,832	7,965,000	106,666	16,986,498
合 計	57,557,593	41,857,584	1,038,666	100,453,843	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源
106,637,000	106,634,760	100,453,843	0	0	6,180,917

3 款	民生費	2 項	児童福祉費	1 目	児童福祉総務費
-----	-----	-----	-------	-----	---------

事業名	児童手当等給付事業(その他)	決算書の頁	P. 50
-----	----------------	-------	-------

事業内容

1. 施設型給付費
子ども・子育て支援新制度に基づき、新制度に移行した幼稚園に公定価格より算出された給付費を利用施設に支出する。
2. 地域型保育給付費
子ども・子育て支援新制度に基づき、認定こども園等を利用する子どもがいる場合、公定価格により算出された給付費を利用施設に支出する。
3. 施設等利用給付費
幼稚園や認可外保育施設等の預かり保育の利用に対し、3歳以上児で、保育の必要性を受けた場合には、月額上限 11,300 円。3歳未満児は、16,300 円を上限に利用額を助成する。
また新制度未移行の幼稚園等を利用する子どもの利用料(保育料)について、3 歳以上児は、月額 25,700 円まで。3 歳未満児は、月額 42,000 円まで、保育料等が無償となる。
4. 私立幼稚園運営補助金
3歳未満の待機児童解消に向けた取り組みとして、2歳児を受け入れる幼稚園に対して、補助を行う。
5. 保育所等整備補助金
小規模保育園開設に伴う補助金

実績・成果

1. 施設型給付費 62,031,640 円

利用施設	年齢	対象人数
白馬幼稚園	3 歳以上児	69名

2. 地域型保育給付費 25,841,890 円

利用施設	年齢	対象人数
Familia Hakuba	未満児	5 名
サンライズキッズ保育園白馬園	未満児	16名

対象施設	種別	対象人数(名)	給付額(円)
白馬幼稚園	預かり保育	61	537,350
保育室マリア	認可外保育施設	2	51,000
子育て支援ルーム	一時預かり保育	3	28,050
合計		66	616,400

3. 施設等利用給付費 616,400 円

- ・本事業により、保護者の金銭的な負担は軽減されている。
- ・一時預かり、幼稚園預かり保育、認可外保育施設利用料は、償還払いにより利用者に支出する。

実績・成果

4. 私立幼稚園運営補助金 3,000,000 円

利用施設	定員	受入人数
白馬幼稚園	6 名	6 名

5. 保育所等整備補助金

	補助金額	備考
令和 5 年度	64,706,000 円	
令和 4 年度	660,000 円	
合計	65,366,000 円	

着工:令和 5 年 3 月 20 日
竣工:令和 5 年 10 月 31 日

6. その他

過年度国・県補助金等返還金 11,489,583 円

○令和4年度精算分

子どものための教育・保育給付交付金の額確定による返還金(国庫):4,032,582 円

児童手当交付金返還金:3,687,001 円

低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金返還金(事業費):2,600,000 円

低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金返還金(事務費):409,000 円

子ども・子育て支援交付金返還金:661,000 円

(令和 3 年度繰越)保育対策総合支援事業費補助金確定による返還金:100,000 円

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
168,023,000	167,685,513	119,566,713	0	27,000,000	21,118,800

3款	民 生 費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-------	----	-------	----	---------

事 業 名		子育て世帯への臨時給付金事業		決算書の頁	P. 50
-------	--	----------------	--	-------	-------

事業内容	1. 子育て世帯生活支援特別給付金事業(その他世帯) 食費等の物価高騰に直面し、家計が悪化している、低所得のひとり親世帯以外の世帯に対し、児童手当又は特別児童扶養手当を受給している者であって、住民税非課税世帯に対し給付金を支給する。また、物価高騰の影響を受けて家計が急変した者に対しても支給する。				
	2. 子育て世帯生活支援特別給付金事業(ひとり親世帯) 食費等の物価高騰に直面し、家計が悪化している、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に対し、給付金を支給する。				
	3. 低所得の子育て世帯給付金事業 令和 5 年度における住民税非課税世帯及び均等割りのみ課税世帯への加算として、世帯主の世帯員に 18 歳以下の子どもに支給する。				
	1, 2,3とも全額国庫補助事業				

実績・成果	1. 子育て世帯生活支援特別給付金事業(ひとり親世帯以外) (1) 支給金額 … 50,000 円/児童 (2) 支給対象者 … 令和4年度中に実施した子育て世帯生活支援特別給付金の対象者であった方、または令和 5 年 1 月以降収入激減者																			
	<table><tr><td>区 分</td><td>金 額</td><td>内 容</td></tr><tr><td>報酬・職員手当</td><td>479,412 円</td><td>会計年度任用職員報酬・職員手当</td></tr><tr><td>事務費</td><td>545,687 円</td><td>消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託</td></tr><tr><td>生活支援特別給付金</td><td>9,700,000 円</td><td>194 名(非課税世帯のみ)</td></tr><tr><td>合 計</td><td>10,725,099 円</td><td></td></tr></table>					区 分	金 額	内 容	報酬・職員手当	479,412 円	会計年度任用職員報酬・職員手当	事務費	545,687 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託	生活支援特別給付金	9,700,000 円	194 名(非課税世帯のみ)	合 計	10,725,099 円	
	区 分	金 額	内 容																	
	報酬・職員手当	479,412 円	会計年度任用職員報酬・職員手当																	
	事務費	545,687 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託																	
	生活支援特別給付金	9,700,000 円	194 名(非課税世帯のみ)																	
	合 計	10,725,099 円																		
	2. 子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親分) (1) 支給金額 … 50,000 円/児童 (2) 支給対象者 … 令和4年度中に実施した子育て世帯生活支援特別給付金、児扶の手当てが全額停止されている方・収入が激減している方 (3) 事業費 … 110,932 円(会計年度任用職員報酬・消耗品・通信運搬費) (4) その他 … 給付金の支払いは、長野県が実施し、申請受付等の事務のみを行った																			
	3. 低所得の子育て世帯給付金事業 (1) 支給金額 … 50,000 円/児童 (2) 支給対象者 … 令和5年度における住民税非課税世帯及び均等割りのみ課税世帯に 18 歳以下の子どもがいる世帯主。 (3) 事業費 … 11,550 円(印刷製本費) (4) その他 … その他給付金等、13,313,000 円は令和 6 年度に繰越																			

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源
24,216,000	10,847,581	10,846,000	0	0	1,581

3款	民 生 費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費																														
事 業 名		長野県子育て世帯生活支援特別給付金		決算書の頁	P. 50																														
事業内容	食料品価格やエネルギー価格の高騰により、食費や冷暖房費など子育てに係る費用が増加し、所得が低い子育て世帯ほど、家計への負担が重くなっていることを踏まえ、国の支援制度が無い「住民税所得割非課税世帯」の子育て世帯への支援をする。 (全額県費事業)																																		
実績・成果	(1)支給金額 … 30,000 円/児童																																		
	(2)支給対象者 … 1. 令和 5 年 4 月分児童手当・特別児童扶養手当の受給者で令和 5 年度分の市町村民税所得割が非課税(均等割のみ課税)の方																																		
	2. 1以外の方で、令和 5 年 3 月 31 日時点で県内に在住し、平成 17 年 4 月 2 日(特別児童扶養手当の受給対象となる児童の場合は平成 15 年 4 月 2 日)から令和 6 年 2 月 29 日までに出生した児童を養育する父母等であつて、以下のいずれかに該当する方(要申請)																																		
	・令和 5 年度の市町村民税所得割が非課税(均等割のみ課税)の方																																		
	・物価高騰の影響を受けて家計が急変し、令和 5 年度分の市町村民税所得割が非課税である方と同様の事情にあると認められる方																																		
<table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th><th colspan="4">内 容</th></tr><tr><td>報酬・職員手当</td><td>100,628 円</td><td colspan="4">会計年度任用職員報酬・職員手当</td></tr><tr><td>事務費</td><td>595,275 円</td><td colspan="4">消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託</td></tr><tr><td>生活支援特別給付金</td><td>1,500,000 円</td><td colspan="4">50 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,195,903 円</td><td colspan="4"></td></tr></table>						区 分	金 額	内 容				報酬・職員手当	100,628 円	会計年度任用職員報酬・職員手当				事務費	595,275 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託				生活支援特別給付金	1,500,000 円	50 名				合 計	2,195,903 円				
区 分	金 額	内 容																																	
報酬・職員手当	100,628 円	会計年度任用職員報酬・職員手当																																	
事務費	595,275 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託																																	
生活支援特別給付金	1,500,000 円	50 名																																	
合 計	2,195,903 円																																		
予 算 額 (円)		決 算 額 (円)		財 源 内 訳 (円)																															
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ()	一 般 財 源																												
2,505,000		2,195,903		2,193,000	0	0	2,903																												

3款	民生費	2項	児童福祉費	2目	子育て支援費
----	-----	----	-------	----	--------

事業名		子育て支援事業	決算書の頁	P.52
-----	--	---------	-------	------

事業内容	1. 子育て世代包括支援センターの運営 (1)個別相談・発達検査 (2)関係機関との連携 2. あそびの教室実施 3. 保護者向けガイダンス・勉強会・講座の実施 4. 病児・病後児保育事業 5. 子ども第三の居場所事業 6. その他の子育て支援に関する事業																																
	1. 子育て世代包括支援センターの運営 妊娠期から 18 歳までの子育て家庭について、一人ひとりの状況に寄り添い、切れ目なくサポートをおこなっている。 (1)個別相談・発達検査 ①相談件数 199 件(面談・電話) ②相談内容 妊娠期・子育て・家庭・園生活・学校生活・その他 ※学校生活の相談が最多。学校の学習支援・支援体制・集団生活の難しさの相談が多い。 ※継続して相談を受ける事があり、必要に応じて関係機関へつなげた。 ③各種検査 <table><tr><td>検 査</td><td>4 年度(名)</td><td>5 年度(名)</td></tr><tr><td>WISC IV 知能検査</td><td>10</td><td>5</td></tr><tr><td>新版 K 式発達検査</td><td>10</td><td>8</td></tr><tr><td>田中ビネー知能検査</td><td>0</td><td>1</td></tr></table> ※病院受診している場合は病院で実施。 (2)関係機関との連携 ①保育園、幼稚園、小学校、中学校を訪問し参観、情報交換を行い、支援会議、検査報告に参加した。 ②就園就学時の情報提供引継ぎシートの作成 <table><tr><td>情報提供元</td><td>情報提供先</td><td>作成数(名)</td></tr><tr><td>認定こども園しろま保育園</td><td>白馬南小学校</td><td>2</td></tr><tr><td>認定こども園しろま保育園</td><td>白馬北小学校</td><td>2</td></tr><tr><td>信学会白馬幼稚園</td><td>白馬南小学校</td><td>2</td></tr><tr><td>白馬南小学校</td><td>白馬中学校</td><td>1</td></tr><tr><td>白馬北小学校</td><td>白馬中学校</td><td>4</td></tr></table> ③白馬村特別支援教育コーディネーター連絡会の開催 目的: 本村の特別支援教育の支援体制の課題、幼・保・小・中学校の連携体制、情報交換 参加者: 幼稚園・保育園・各小中学校の特別支援教育コーディネーター、子育て支援課				検 査	4 年度(名)	5 年度(名)	WISC IV 知能検査	10	5	新版 K 式発達検査	10	8	田中ビネー知能検査	0	1	情報提供元	情報提供先	作成数(名)	認定こども園しろま保育園	白馬南小学校	2	認定こども園しろま保育園	白馬北小学校	2	信学会白馬幼稚園	白馬南小学校	2	白馬南小学校	白馬中学校	1	白馬北小学校	白馬中学校
検 査	4 年度(名)	5 年度(名)																															
WISC IV 知能検査	10	5																															
新版 K 式発達検査	10	8																															
田中ビネー知能検査	0	1																															
情報提供元	情報提供先	作成数(名)																															
認定こども園しろま保育園	白馬南小学校	2																															
認定こども園しろま保育園	白馬北小学校	2																															
信学会白馬幼稚園	白馬南小学校	2																															
白馬南小学校	白馬中学校	1																															
白馬北小学校	白馬中学校	4																															

2. あそびの教室実施

(1)「すてっぷ」

対 象	2 歳児 あそびの教室「ほっぷ」終了後、さらに小集団活動の継続を希望する親子
実 績	登録者数:19 名 2 グループ 実施回数:20 回 5 月～3 月に月 1 回程度 参加延べ人数:92 名 (前年度 107 名)

* 冬期間、入園に向けて母子分離コースを行った。

(2)「じゃんぷ」

対 象	3 歳以上児 小集団活動を希望する親子			
実 績	区分	登録者数	実施回数	参加延べ人数
	年長児	12 名 (前年 12 名)	11 回 (前年 17 回)	91 名 (前年 89 名)
	年中児	8 名 (前年 16 名)	11 回 (前年 15 回)	43 名 (前年 59 名)
	年少児	15 名 (前年 11 名)	20 回 (前年 20 回)	81 名 (前年 53 名)

(3)未就園児個別発達支援

対象児:2 名/10 回

(4)5 歳発達相談

対象児:保育園・幼稚園年中児及び前年度未実施児

対象児数:47 名

実施状況:認定こども園しろま保育園 3 回 年中 26 名 (欠席 2 名)、年長 1 名
信学会白馬幼稚園 2 回 年中 17 名 (欠席 1 名)

3. 保護者向けガイダンス・勉強会・講座

(1)就学ガイダンスの開催

小学校入学にあたり、すべての子どもが持てる力を最大限に発揮し、共に学び合える教育を受けられる「学びの場」について説明。

対象者:信学会白馬幼稚園と認定こども園しろま保育園の年中児保護者

(2)その他の勉強会・講座

勉強会・講座名	対象者	開催回数	参加延べ人数
ペアレントトレーニング	幼稚園児、保育園児、 小学校児童の保護者	昼の部 3 回	31 名 (前年 36 名)
		夜の部 3 回	
親の会	発達障がい等診断の ある児童の保護者	5 回	15 名 (前年 10 名)

* ペアレントトレーニング参加者からは「子どもの関わり方に悩んでいたので、参考になった」「学んだことをすぐ実践できてよかった」「具体的な例や話でとてもわかりやすかった」等の意見があり、講師や内容については参加者全員が「とても良かった」と答えた。

4. 病児病後児事業 652,000 円 (負担金)

北アルプス連携自立圏事業として、令和 2 年 10 月より大町市立大町総合病院内にて、病児・病後児保育が開始され、病後児保育を必要としている保護者の利便性向上が図られた。

	利用人数	利用延べ人数	登録数	利用日数
白馬村	8 名	30 名	12 名	30 日
全体	92 名	158 名	84 名	149 日

5. 子ども第三の居場所事業補助金

B&G 財団の事業として、学校でも家でもない子ども第三の居場所を開設するための開設費を事業を実施する外部団体へ補助を行った。

事業実施者:非営利活動法人 KUMOI

補助額:25,000,000 円

6. その他の子育て支援に関する事業

(1)子育て支援アプリ 244,080 円(共同加入により、自治振興組合負担金)

子育て支援アプリにより、妊娠中の健康記録から子どもの成長記録、子育て情報を提供する。また、健診やイベント情報を随時に周知する。

(年度末の人数)

登録者数	令和4年度	令和5年度
	267 名	300 名

(2)子育て支援業務 30,000 円(委託料)

各学校(北小・南小・中学)への教育支援事業委託料として、各校 10,000 円

(3)ショートステイ委託業務 86,400 円

令和5年度児童養護施設等に一時的に預かりを委託した委託料として、86,400 円

6. 運営経費

区 分	金 額	内 容
人 件 費	20,433,098	職員2人、相談員2人、託児保育士等
管理費	129,610	子育て支援業務委託料、通信費
事業費	26,149,104	ペアレントトレーニング講師謝礼、消耗品費、賄材料費、負担金・補助金
合 計	46,711,812	

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (B & G 財 団)	一 般 財 源
74,757,000	46,711,812	8,981,000	0	25,000,000	12,730,812

3款	民生費	2項	児童福祉費	2目	子育て支援費
----	-----	----	-------	----	--------

事業名		はくばっ子応援交付金事業		決算書の頁		P. 52	
事業内容	1. 多子世帯出産祝金 第3子以降の出生した子を養育している保護者に対し給付金を支給する。 第3子 20,000 円 第4子 40,000 円						
	2. 入学卒業祝金 小学校入学時、小学校及び中学校卒業時の子育ての節目に、対象児童を養育している保護者に対し給付金を支給する。 1人 10,000 円						
実績・成果	1. 多子世帯出産祝金 180,000 円 第3子 7件 第4子 1 件						
	2. 入学卒業祝金 1,800,000 円 小学校入学祝金 50 件 小学校卒業祝金 65 件 中学校卒業祝金 65 件						
予算額		決算額 (円)		財 源 内 訳 (円)			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
2,050,000		1,980,000		0	0	1,980,000	0

3款	民生費	2項	児童福祉費	3目	保育所費
----	-----	----	-------	----	------

事業名		しろうま保育園運営事業		決算書の頁		P. 53																																															
事業内容	1. 保育事業 令和5年4月1日より保育所型認定こども園に移行 生後 10 カ月児～就学前児までの保育を実施 開園時間 7:30～18:30																																																				
	2. 特別保育事業 (1) 障がい児保育 加配保育士を配置し保育を実施 (2) 延長保育 延長保育士を配置し保育を実施 朝 7:30～8:00 夕方 16:30～18:30 (3) 希望保育 職員が当番制で保育を実施 土曜日・お盆休み・春休み																																																				
実績・成果	1. 保育事業 子ども・子育て支援新制度に基づき、保育の必要性を認定した上で入所とし、1 ヶ月の就労時間により、保育の必要量の区分を保育標準時間利用(1 日最大 11 時間までの利用)と、保育短時間利用(1 日最大 8 時間までの利用)として、朝 7:30～夕方 18:30 まで保育を提供する。																																																				
	(単位:名)																																																				
	<table><tr><th>年 齢</th><th>園児数</th><th>保育士数</th><th>標準時間 利用人数</th><th>延長保育 月契約人数</th><th>教育時間 利用時間 (1 号認定)</th></tr><tr><td>5 歳児</td><td>35</td><td>2(1)</td><td>10</td><td>5</td><td></td></tr><tr><td>4 歳児</td><td>27</td><td>1(1)</td><td>13</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3 歳児</td><td>36</td><td>2(1)</td><td>6</td><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td>2 歳児</td><td>18</td><td rowspan="3">10</td><td>6</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>1 歳児</td><td>24</td><td>11</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>0 歳児</td><td>6</td><td>2</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td>146</td><td>15(3)</td><td>48</td><td>11</td><td>5</td></tr></table>							年 齢	園児数	保育士数	標準時間 利用人数	延長保育 月契約人数	教育時間 利用時間 (1 号認定)	5 歳児	35	2(1)	10	5		4 歳児	27	1(1)	13	1	2	3 歳児	36	2(1)	6	1	3	2 歳児	18	10	6	1		1 歳児	24	11	2		0 歳児	6	2	1		合 計	146	15(3)	48	11	5
	年 齢	園児数	保育士数	標準時間 利用人数	延長保育 月契約人数	教育時間 利用時間 (1 号認定)																																															
	5 歳児	35	2(1)	10	5																																																
	4 歳児	27	1(1)	13	1	2																																															
	3 歳児	36	2(1)	6	1	3																																															
	2 歳児	18	10	6	1																																																
	1 歳児	24		11	2																																																
	0 歳児	6		2	1																																																
合 計	146	15(3)	48	11	5																																																
() 障がい児加配保育士 令和 6 年 3 月 31 日現在																																																					
<参考> 保育士配置基準(国): 保育士1人に対する保育できる児童数																																																					
0 歳児・・・3 人、1・2 歳児・・・6 人、3 歳児(年少)・・・20 人																																																					
4・5 歳児(年中・長)・・・30 人																																																					
2. 特別保育事業																																																					
(1)障がい児保育																																																					
① 家族の希望・意向の聞き取り等をもとに、個別支援計画(前期・後期)を作成し保育した。																																																					
② 病院の診察やリハビリに同行し、保育園での様子を伝えたり、アドバイスいただいたり、保護者との情報共有や園児の状況確認を行い保育した。																																																					
③ 障がいの診断の有無に関わらず、5 歳発達相談で支援や経過観察が必要とされた園児や保護者・保育士からの相談があった園児に対しては、スクラムネットの協力のもと相談や発達検査を行い、必要に応じてこども病院や大町病院の発達外来・リハビリ、子育て相談支援センターのあそびの教室、大町市のキッズウィル、小谷村のそらいろなどにつなげ、園児の育ちを保護者と共通理解し発達を促す支援を行った。また、そらいろとは定期的にモニタリングを実施した。																																																					
④ 入学に不安を抱えている園児とその保護者に対して、就学前に小学校へ見学に行き不安を解消する機会を作った。																																																					

(2)延長保育

- ① 通常の登降園時間に送迎できない園児を、延長保育室(2 部屋)で、延長保育担当保育士(4～5 人)が保育した。
- ② 延長保育利用園児が増えているため、保育士に加え、保育士資格を持たない保育補助者5名(うち2名は保育に興味を持つ白馬高校生)を採用して保育した。

(単位:名)

利用区分	利用者数 *延べ人数	前年度増減
保育標準時間	556	69
月契約	123	△42
緊急利用	256	△7

(3)希望保育

- ① 日曜祝日以外の休みの日に、保護者の就労により家庭保育ができない園児を保育した。

(単位:名)

種類(実施日数)	利用者数 *延べ人数	前年度増減
土曜日 (49)	818	98
お盆休み (3)	111	58
春休み (5)	271	33

3. 職員研修

(1)主な研修会(参加人数)

第 62 回長野県保育研究大会記念講演(オンデマンド配信)(20)

長野県保育所地域子育て塾(オンデマンド配信)(21)

長野県保育所保育士等研修会(オンライン)(13)

大北地区保育所保育士等研修会(2)

北安曇郡保育連盟保育士研修会(11)

特定給食施設従事者研修会(1)

大北地域栄養士研修会(1)

4. 運営経費

区 分	金 額	内 容
人 件 費	117,026,782 円	職員 11 名、会計年度任用職員29名(保育士・延長保育士・栄養士・給食調理員、代替え、保育補助)、嘱託医 2 名
燃料・光熱水費	5,590,183 円	電気・水道・灯油・ガス料金
管 理 費	7,888,424 円	施設管理委託料、工事請負費、修繕費、通信費、原材料費、OA機器借上料、ピアノ調律等手数料
事 業 費	13,081,319 円	給食賄材料費、消耗品費、備品購入費、保険料、口座振替手数料、印刷製本費、負担金
合 計	143,586,708 円	

・主な工事請負費 ① 食器洗浄機入替工事 858,000 円 ② 築山改修工事 506,600 円 ③ FF 暖房機入替工事 359,700 円 ④ 外灯設置工事 290,400 円 ⑤ 給湯器入替工事費 308,000 円 ⑥ 区画線設置工事 247,500 円 ⑦ 看板工事代 180,290 円 ⑧ 外部改修工事 1,452,000 円 ・主な修繕費 ① 食器消毒保管庫修理代 107,800 円 ② 防火シャッター電池交換修理代 52,800 円 ・主な施設管理委託料 ① 電算業務委託 554,400 円 … 保育料システム ② 衛生検査業務委託 377,421 円 … 保菌検査、拭き取り検査 ③ 防犯業務委託 240,900 円 … 防犯システム、絆メール ④ 電気保安業務委託 223,080 円 … 電気設備の保安点検 ⑤ 消防施設点検業務委託 117,700 円 … 消防設備・防火シャッターの点検 ⑥ 園庭樹木枝打ち業務委託 220,000 円 ⑦ 保育室 FF 暖房機保守点検業務委託 102,960 円 ⑧ 園庭固定遊具保守点検業務委託 63,800 円 ⑨ 生ごみ処理機保守点検業務委託 59,950 円 ⑩ 地下タンク点検業務委託 33,000 円 ・主な備品購入費 ① 書庫1台 81,180 円 ② フィッティングテーブル3台 140,000 円 ③ プールカバー 73,810 円 ・給食賄材料費 10,154,192 円 ・白馬村多子世帯保育料軽減事業 <table><tr><td>保育料の軽減</td><td>5 世帯</td><td>5 名</td><td>216,000 円</td></tr><tr><td>第 3 子</td><td>5 世帯</td><td>5 名</td><td>216,000 円</td></tr><tr><td>第 4 子</td><td>0 世帯</td><td>0 名</td><td>0 円</td></tr></table> しろうま保育園 3 世帯 3 名、家庭的保育施設 1 世帯 1 名、小規模保育施設 1 世帯 1 名の園児が対象。該当者の保育料は、軽減分を差し引いて請求を行った。 多子世帯保育料減免事業費補助金 108,000 円(1/2 費補助金) ・保育料の減免(還付) 80,632 円 給食調理員のウイルス感染による給食停止期間(令和 5 年 10 月 2 日～5 日)について減免した。 対象園児 96 名						保育料の軽減	5 世帯	5 名	216,000 円	第 3 子	5 世帯	5 名	216,000 円	第 4 子	0 世帯	0 名	0 円
保育料の軽減	5 世帯	5 名	216,000 円														
第 3 子	5 世帯	5 名	216,000 円														
第 4 子	0 世帯	0 名	0 円														
予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)															
		国県支出金	地方債	そ の 他 (保育料・延長保育料・給食費)	一 般 財 源												
144,246,000	143,586,708	108,000	0	15,129,698	128,349,010												

3 款	民生費	2 項	児童福祉費	3 目	保育所費
-----	-----	-----	-------	-----	------

事業名		子育て支援ルーム運営事業				決算書の頁				P. 53				
事業内容	1. 地域子育て支援拠点事業として、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行い、子育てについての相談、情報提供、助言、援助を行う。 (1)なかよし広場…不定期 9:30～12:00 ・友だちとの関わりや遊ぶ場の提供。 (2)自由利用…月曜日～金曜日 9:30～12:00、13:00～16:00 日曜日 9:30～12:00 ・園庭は常時開放。 (3)その他…食育活動、人形劇鑑賞会、音楽コンサート、親子体操、保護者の為のリフレッシュ講座、親子あそび講座等の開催。													
	2. 一時預かり事業として就労、冠婚葬祭、保護者のリフレッシュ等の理由で家庭で保育をすることが困難な生後 10 ヶ月児～就学前の児童の預かり保育を行う。 (1)一時保育…月曜日～土曜日 8:30～17:00 (時間外保育は要相談で受け入れる) 料金 3 歳未満児 300 円／1h 3 歳以上児 150 円／1h 一週間利用(6 日間) 6,000 円／1w (2)休日保育…日曜日・祝日 8:30～17:00 料金 3 歳未満児 300 円／1h 3 歳以上児 150 円／1h													
	1. 地域子育て拠点事業 月別利用者数 (単位:名)													
	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	なかよし広場		22	86	87	93	80	76	55	64	20	4	65	652
	自由利用	81	84	99	73	36	89	69	128	123	102	82	75	1,041
	(1)なかよし広場 75 回開催 参加者数 652 名 (前年 656 名)													
	(2)自由利用(庭遊具のみ利用者除く) 利用者 1,041 名 (前年 1,240 名)													
	(3)その他													
	①食育活動 ・保育園栄養士による「おいしいもの食べよ」 7 回開催 参加家庭数 68 組 149 名 (8 月感染症拡大防止の為中止) ・食育ボランティアによる「郷土食(おやき・白馬豚の豚汁・ぼたもち)」 3 回開催 参加家庭数 34 組 69 名													
	②育児講座・イベント等 ・子育てに関するテーマに沿った講座「イヤイヤ期の親子遊び」等 4 回開催 参加者数 93 名 ・リフレッシュ講座、イベント等 11 回開催 参加者数 201 名													
	③ボランティア ・「読み聞かせおはなし会」月 1 回開催 参加家庭数 61 組(70 名) ・更生保護女性会・保護司による草刈り													

2. 一時預かり事業

月別利用者数

(単位:名)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時保育	79	70	76	61	102	88	106	93	92	69	77	72	985
休日保育	23	58	10	25	42	46	42	28	7	39	45	34	399

- 一時保育 利用者 985 名 (前年 1,609 名)

出生率の減少や保育園等への入園が増えた為減少。

- 休日保育 利用者 399 名 (前年 325 名)

3. 運営経費

区 分	金 額	内 容
人件費	16,625,251 円	職員 2 名、会計任用職員 1 名、代替職員等
燃料・光熱水費	1,138,314 円	電気、水道、灯油、ガス料金
管理費	742,094 円	施設管理委託料、修繕費、原材料費、通信費、OA 機器借上料、ピアノ調律手数料、NHK 受信料
事業費	509,972 円	講師謝礼、消耗品費、賄材料費、保険料、備品購入費
合計	19,015,631 円	

- 修繕費…31,548 円

硝子入替、セキュリティボックス、暖房機修理

- 備品購入費…49,477 円

室内玩具、ユニットターフ(人工芝)

- 主な施設管理委託料

防犯業務等 233,200 円、消防設備点検業務 34,100 円

実績・成果

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (一時保育料・休日 保育料、おやつ代)	一般財源
19,274,000	19,015,631	7,877,000	0	1,880,000	9,258,631

4款	衛生費	1項	保健衛生費	4目	母子健康費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名		母子健康事業	決算書の頁	P. 58																																																									
事業内容	1. 母子保健事業 母子保健法に基づき、乳幼児健診・育児支援・発達支援等を実施する。																																																												
	2. 予防接種事業 予防接種法に基づき、定期接種を実施する。村内医療機関の協力により集団接種を行う。 疾患等のある児および高校生等は、医療機関に委託する。 小児インフルエンザ予防接種は、費用の一部助成を行う。																																																												
実績・成果	1. 母子保健事業																																																												
	<table><thead><tr><th>事業名</th><th>内 容</th><th>実 績</th></tr></thead><tbody><tr><td>母子健康手帳交付</td><td>面談、プラン作成</td><td>39 名</td></tr><tr><td>2か月育児相談</td><td>発達チェック、相談</td><td>49 名（90.7%） 12 回</td></tr><tr><td>もぐもぐ教室</td><td>離乳食の指導・展示、発達相談</td><td>25 名（64.1%） 4回</td></tr><tr><td>2歳相談</td><td>発達チェック、育児相談</td><td>37 名（82.2%） 4回</td></tr><tr><td>赤ちゃんマッサージ</td><td>助産師によるマッサージ指導</td><td>延べ 19 名（12 名） 8回</td></tr><tr><td>ブックスタート</td><td>前期乳児健診での絵本贈呈、趣旨説明</td><td>48 名 12 回</td></tr><tr><td>あそびの教室「ほっふ」</td><td>小集団親子遊び</td><td>3回×4コース、延べ 39 名</td></tr><tr><td>家庭訪問</td><td>新生児等</td><td>延べ 52 名（52 名）</td></tr><tr><td>母乳相談等助成事業</td><td>助産師による母乳相談や乳房マッサージの費用助成</td><td>延べ7名（7名）</td></tr><tr><td>眼科検査</td><td>保育園・幼稚園年中児視力等検査</td><td>園児 57 名</td></tr><tr><td>PT相談</td><td>理学療法士による発達相談・指導</td><td>延べ 51 名（17 名） 12 回</td></tr><tr><td>CP相談</td><td>臨床発達心理士による発達相談・指導</td><td>延べ8名（7名） 6回</td></tr><tr><td>OT相談</td><td>作業療法士による発達相談・指導、あそびの教室「すてっふ」の指導</td><td>相談:延べ1名（1名） 1 回 「すてっふ」:6回</td></tr><tr><td>園児食育・歯科指導</td><td>う歯予防、歯磨き指導、食育指導</td><td>保育園・幼稚園各1回</td></tr><tr><td>妊婦・妊婦歯科・乳児一般健康診査</td><td>妊婦健診14回・妊婦超音波4回・妊婦血液検査等4回、妊婦歯科健診1回、乳児健診1回の費用を助成（医療機関委託）</td><td>妊婦健診等 885 回 妊婦歯科健診 23 回 乳児一般健康診査 5 回</td></tr><tr><td>新生児聴覚検査（新規）</td><td>新生児聴覚検査1回の費用を助成（医療機関委託）</td><td>聴覚検査 30 回</td></tr><tr><td>前期乳児健診対象:4～5か月</td><td>内科診察、育児・栄養相談、発達チェック</td><td>46 名（97.9%） 12 回</td></tr><tr><td>後期乳児健診対象:10～11 か月</td><td>内科診察、育児・栄養相談、歯科指導、発達チェック</td><td>34 名（94.4%） 12 回</td></tr></tbody></table>				事業名	内 容	実 績	母子健康手帳交付	面談、プラン作成	39 名	2か月育児相談	発達チェック、相談	49 名（90.7%） 12 回	もぐもぐ教室	離乳食の指導・展示、発達相談	25 名（64.1%） 4回	2歳相談	発達チェック、育児相談	37 名（82.2%） 4回	赤ちゃんマッサージ	助産師によるマッサージ指導	延べ 19 名（12 名） 8回	ブックスタート	前期乳児健診での絵本贈呈、趣旨説明	48 名 12 回	あそびの教室「ほっふ」	小集団親子遊び	3回×4コース、延べ 39 名	家庭訪問	新生児等	延べ 52 名（52 名）	母乳相談等助成事業	助産師による母乳相談や乳房マッサージの費用助成	延べ7名（7名）	眼科検査	保育園・幼稚園年中児視力等検査	園児 57 名	PT相談	理学療法士による発達相談・指導	延べ 51 名（17 名） 12 回	CP相談	臨床発達心理士による発達相談・指導	延べ8名（7名） 6回	OT相談	作業療法士による発達相談・指導、あそびの教室「すてっふ」の指導	相談:延べ1名（1名） 1 回 「すてっふ」:6回	園児食育・歯科指導	う歯予防、歯磨き指導、食育指導	保育園・幼稚園各1回	妊婦・妊婦歯科・乳児一般健康診査	妊婦健診14回・妊婦超音波4回・妊婦血液検査等4回、妊婦歯科健診1回、乳児健診1回の費用を助成（医療機関委託）	妊婦健診等 885 回 妊婦歯科健診 23 回 乳児一般健康診査 5 回	新生児聴覚検査（新規）	新生児聴覚検査1回の費用を助成（医療機関委託）	聴覚検査 30 回	前期乳児健診対象:4～5か月	内科診察、育児・栄養相談、発達チェック	46 名（97.9%） 12 回	後期乳児健診対象:10～11 か月	内科診察、育児・栄養相談、歯科指導、発達チェック	34 名（94.4%） 12 回
	事業名	内 容	実 績																																																										
	母子健康手帳交付	面談、プラン作成	39 名																																																										
	2か月育児相談	発達チェック、相談	49 名（90.7%） 12 回																																																										
	もぐもぐ教室	離乳食の指導・展示、発達相談	25 名（64.1%） 4回																																																										
	2歳相談	発達チェック、育児相談	37 名（82.2%） 4回																																																										
	赤ちゃんマッサージ	助産師によるマッサージ指導	延べ 19 名（12 名） 8回																																																										
	ブックスタート	前期乳児健診での絵本贈呈、趣旨説明	48 名 12 回																																																										
	あそびの教室「ほっふ」	小集団親子遊び	3回×4コース、延べ 39 名																																																										
	家庭訪問	新生児等	延べ 52 名（52 名）																																																										
	母乳相談等助成事業	助産師による母乳相談や乳房マッサージの費用助成	延べ7名（7名）																																																										
	眼科検査	保育園・幼稚園年中児視力等検査	園児 57 名																																																										
	PT相談	理学療法士による発達相談・指導	延べ 51 名（17 名） 12 回																																																										
	CP相談	臨床発達心理士による発達相談・指導	延べ8名（7名） 6回																																																										
	OT相談	作業療法士による発達相談・指導、あそびの教室「すてっふ」の指導	相談:延べ1名（1名） 1 回 「すてっふ」:6回																																																										
	園児食育・歯科指導	う歯予防、歯磨き指導、食育指導	保育園・幼稚園各1回																																																										
	妊婦・妊婦歯科・乳児一般健康診査	妊婦健診14回・妊婦超音波4回・妊婦血液検査等4回、妊婦歯科健診1回、乳児健診1回の費用を助成（医療機関委託）	妊婦健診等 885 回 妊婦歯科健診 23 回 乳児一般健康診査 5 回																																																										
	新生児聴覚検査（新規）	新生児聴覚検査1回の費用を助成（医療機関委託）	聴覚検査 30 回																																																										
	前期乳児健診対象:4～5か月	内科診察、育児・栄養相談、発達チェック	46 名（97.9%） 12 回																																																										
後期乳児健診対象:10～11 か月	内科診察、育児・栄養相談、歯科指導、発達チェック	34 名（94.4%） 12 回																																																											

1歳6か月健診	内科・歯科診察、発達チェック、育児・栄養相談、歯科指導	37名（97.4%） 5回
2歳歯科健診	歯科診察、栄養相談、歯科指導	27名（64.3%） 2回
3歳健診	内科・歯科診察、尿・聴力・視力検査、発達チェック、育児・栄養相談、歯科指導	46名（100.0%） 5回

- 遠隔健康医療相談サービス「産婦人科、小児科オンライン」:1,188,000 円
（登録者 256 人、相談数 104 件）
- 健診等委託料:9,498,146 円
- 電算委託料:330,000 円
- 不妊・不育症治療費助成:801,578 円(10 名)
- 妊婦健診補助金等:517,820 円(16 名)
- 松本大北地域出産子育て安心ネットワーク協議会負担金:56,880 円

2. 予防接種事業

	種類	接種者数	接種本数	接種率
集団接種 (ふれあいセンター)	ロタ	45 名	延べ 96 本	95.7%
	B型肝炎	51 名	延べ 137 本	92.7%
	ヒブ	48 名	延べ 162 本	92.3%
	小児肺炎球菌	48 名	延べ 162 本	92.3%
	4種混合	44 名	延べ 163 本	91.7%
	2種混合	61 名	延べ 61 本	89.7%
	BCG	38 名	延べ 38 本	86.4%
	麻しん風しん	87 名	延べ 87 本	91.6%
	水痘	43 名	延べ 73 本	91.5%
	日本脳炎	157 名	延べ 210 本	84.8%
個別接種 (医療機関委託)	乳幼児	14 名	(延べ 104 本)	
	HPV(子宮頸がん)	36 名	(延べ 82 本)	
	高校生日本脳炎	35 名	(延べ 35 本)	
小児インフルエンザ (医療機関委託)	延べ 488 名 (幼児 166 回、小学生 247 回、中学生 75 回)			

- 乳幼児予防接種ワクチン医薬材料費:5,768,380 円
- HPV ワクチン予防接種委託料:2,190,490 円
- 小児インフルエンザワクチン接種委託料:1,125,000 円

【事業費内訳】

区 分	金 額 (円)	内 容
人件費	19,353,872	職員2名、会計年度任用職員、医師、歯科医師等
管理費	11,016,146	健診等委託料、電算委託料、遠隔健康医療相談サービス利用料
事業費	7,463,824	消耗品、備品、特定計量器検査手数料、展示用食材費、ワクチン等医薬品材料、予防接種予診票印刷製本費、補助金等
合計	37,833,842	

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
38,727,000	37,833,842	12,068,000	0	250,000	25,515,842

4款	衛生費	1項	保健衛生費	4目	母子健康費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名		母子保健衛生事業		決算書の頁	P. 58
-----	--	----------	--	-------	-------

事業内容	1. 未熟児養育医療事業(国 1/2、県 1/4、村 1/4) 出生体重が 2,000g 以下等で、医師が入院療育を必要と認めた児の医療費を助成する。				
	2. 母子保健医療対策事業(国 1/2、村 1/2) 妊娠から出産1年を経過しない母親と乳児に対し、子育ての始まり期を集中的に支援する。				
実績・成果	3. 出産・子育て応援交付金 妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援(既存の母子事業)とともに、経済的支援として「出産子育て応援交付金」を支給する。				

実績・成果	1. 未熟児養育医療事業 助成額 182,158 円、利用者2名				
	2. 母子保健医療対策事業 (1) 産前産後サポート事業(育児相談・マタニティ相談) 助産師報酬等 115,500 円 ①育児相談:利用者 45 名、延べ相談件数 114 回(乳児 91 回、幼児6回、母乳 20 回) ②マタニティ相談:利用者 18 名 ③パパママ教室(新規):利用者 15 名(8組) (2) 産後ケア事業 委託料 1,026,400 円、利用者6名(宿泊型5名、通所型1名) (3) 産婦健診事業 委託料 426,870 円、利用者 45 名 (4) 母乳相談等助成事業 委託料 14,000 円、利用者7名 (5) その他 令和4年度国庫負担金返還金等 114,000 円、消耗品 7,535 円				
実績・成果	3. 出産・子育て応援交付金 (1) 出産応援交付金 支給額 2,100,000 円、支給人数 42 名 (2) 子育て応援交付金 支給額 2,900,000 円、支給人数 58 名 (3) その他 交付決定通知書郵送料 7,076 円				

【事業費内訳】		
区分	金額(円)	内 容
人件費	115,500	会計年度任用職員(助産師)
管理費	1,467,270	産前産後サポート委託料
事業費	5,310,769	消耗品、郵送料、補助金等
合計	6,893,539	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (負担金・ふるさと 基 金)	一 般 財 源
6,932,000	6,893,539	6,416,599	0	253,715	223,225